

中野区基本計画（素案）

【説明資料】

2026年度 ▶ 2030年度（令和8年度 ～ 令和12年度）

令和7年（2025年）9月
中野区

— 目次 —

第1章	計画の基本的な考え方.....	1
第2章	策定の背景.....	2
第3章	計画の体系.....	7
第4章	重点プロジェクト.....	8
第5章	基本目標別の政策・施策.....	15
第6章	区政運営の基本方針.....	72

策定の趣旨

- 中野区基本構想では、人々が大切にしたい理念の下、中野のまちの将来像「つながる はじまる なかの」を掲げ、10年後に目指す4つのまちの姿を描くとともに、区政運営の基本方針を示しています。
- 基本構想で描くまちの姿を実現するため、2021年9月に中野区基本計画（以下「前基本計画」といいます。）を策定し、取組を進めてきました。
- 前基本計画の計画期間が2025年度に終了することに伴い、その後の5年間における区政運営を着実に推進し、基本構想の実現につなげていくため、新たな中野区基本計画（以下「基本計画」といいます。）を策定します。

基本計画の位置づけ

- 基本構想において描く目指すまちの姿の実現に向け、区が取り組む基本的な方向性を示します。
- 区政全般にわたる総合的な計画として定めるとともに、各個別計画の上位の計画として位置付け、政策及び施策を体系的に示します。
- まち・ひと・しごと創生法に基づく市町村まち・ひと・しごと総合戦略に位置付けます。

計画期間と進捗管理

- 計画期間は、2026年度から2030年度までの5年間で、この5年間のうち、前半の2年を前期、後半の3年を後期とし、計画の進捗管理を行います。
- 計画期間中においては、目標と成果による区政運営により、目標と現状についての検証を行いながら、取組の改善を図っていきます。
- 計画策定後、区を取り巻く社会経済状況が大きく変化した場合には、必要に応じて計画の改定を行います。

区を取り巻く社会状況等の変化

【人口減少社会の進展と人口構造の変化】

- 全国的に進展する人口減少、現在は増加傾向の都市部も将来的には減少
- 人口減少と並行し、高齢者人口の増加、年少人口の減少等により人口構造が変化
- 人口構造の変化による様々な影響から区民の豊かな暮らしを守ることが最重要課題
- 誰一人取り残さない地域社会の構築と将来に希望を持って住み続けられるまちづくりに取り組んでいくことが必要

【ダイバーシティの進展】

- ジェンダーギャップやLGBTQ、障害者雇用や外国人労働など、ダイバーシティへの問題意識から、様々な面で、互いの違いや価値観を尊重する取組が求められている
- 中野区の地域特性から、多様性にあふれるまちとして、あらゆる差別をなくし、様々な個性や価値観が尊重される社会づくりを進めることが重要
- 人権と多様性を認め合う地域づくりとともにユニバーサルデザインの推進に取り組んでいくことが必要

【デジタル社会の実現に向けた取組の進展】

- 我が国が目指す未来社会の姿であるSociety5.0の実現に向け、官民を挙げての取組が推進されている
- 国が目指す「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」の実現には、住民に身近な行政として自治体の役割が重要
- 基礎的自治体として、区民サービスの向上に向け、民間企業や他自治体と協力し、不断の改善に取り組むことが必要

【自然災害の発生と気候変動の影響】

- 気候変動の影響等による大型台風、猛暑などによる被害の発生や大規模地震の発生確率の高まり
- 区の危機管理体制や地域防災力の向上、災害に強い都市基盤整備の推進の必要性
- 異常気象の一因となる地球温暖化への対策として脱炭素社会の実現に向けた取組が必要

【ライフスタイルの変化と孤独・孤立】

- 情報通信社会の急速な進展等に伴うライフスタイルの変化や少子高齢化等による社会環境の変化により人と人とのつながりが希薄化
- 新型コロナウイルス感染拡大により、孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化
- 基本構想の理念に掲げる人と人との交流やつながりを広げ、誰一人取り残されることのない安心できる地域社会の構築は一層重要

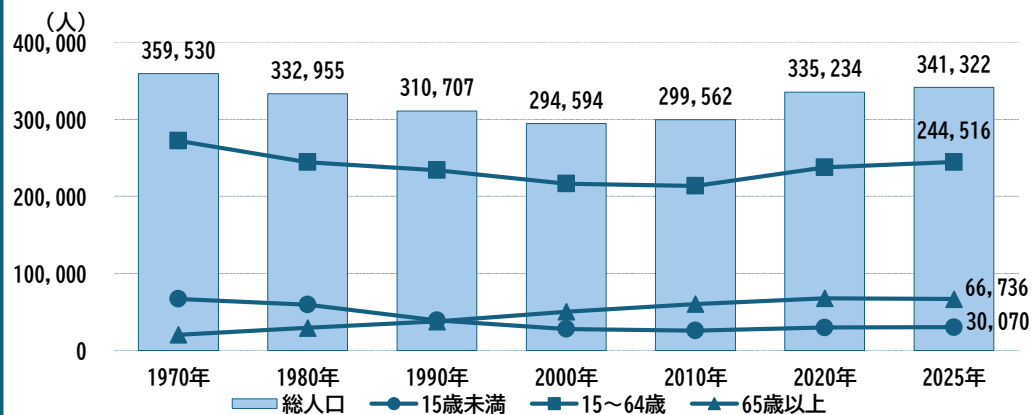
人口動向・将来人口推計

【人口動向】

○中野区の人口は1970年をピークに減少傾向となり、2000年には30万人を割り込みました。その後は増加傾向に転じ、新型コロナウイルス感染症等の影響により一時期減少したものの、増加の傾向は継続しています。

○年齢3区分別人口構成は、65歳以上の人口比は増加傾向、15歳未満の人口比は減少傾向が続いていましたが、近年は横ばい傾向となっています。

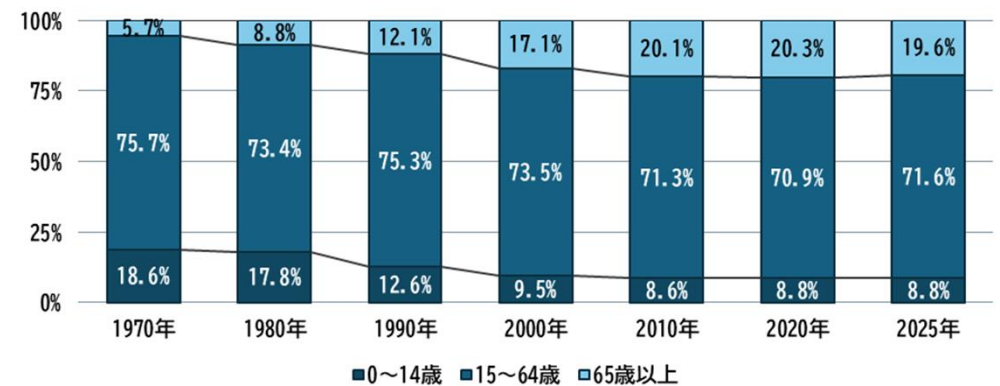
人口の推移（各年1月1日）



（住民基本台帳より作成）

※住民基本台帳法の一部改正により2013年から外国人を含んでいる。

年齢3区分別人口割合の推移（各年1月1日）



（住民基本台帳より作成）

人口動向・将来人口推計

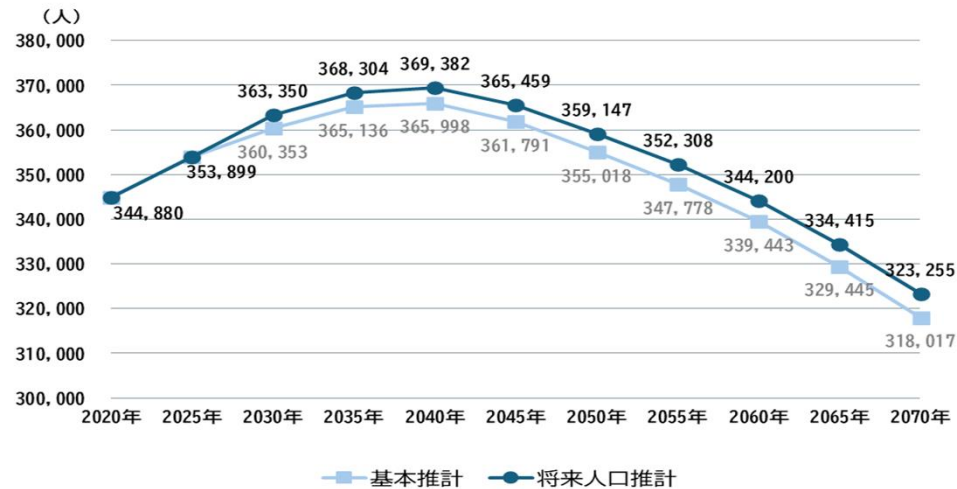
【将来人口推計】

○国立社会保障・人口問題研究所による推計を基に、直近の住民基本台帳人口等を勘案した推計（基本推計）を基準として、中野駅周辺のまちづくりの動向や子どもと子育て家庭の定住促進など基本計画に掲げる取組の影響を見込み、将来人口推計を行いました。

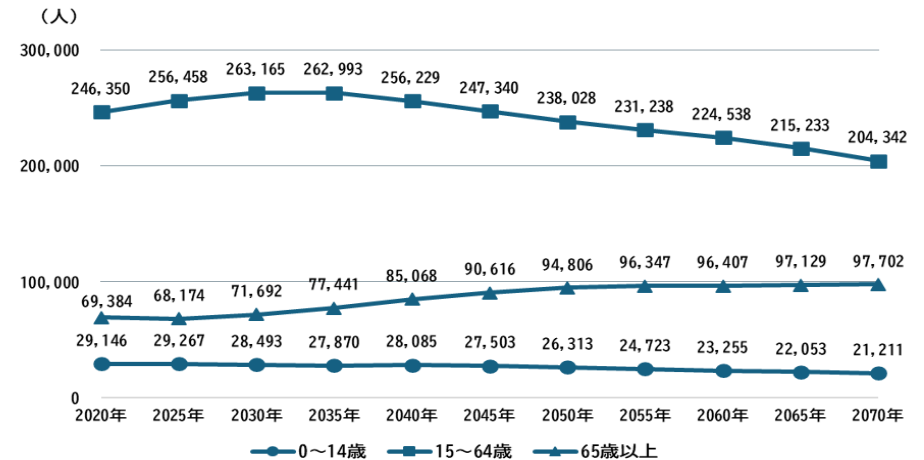
○区の総人口は、当面の間増加が続き、2040年にピークの約36万9千人に達した後、減少に転じ、2070年には約32万3千人になると見込んでいます。

○年齢3区分別人口の推移を見ると、65歳以上の人口は2025年以降増加傾向が続き、2050年には4人に1人の割合となり、2070年には約9万8千人へと増加すると推計しています。

将来人口推計



年齢3区分別人口推移



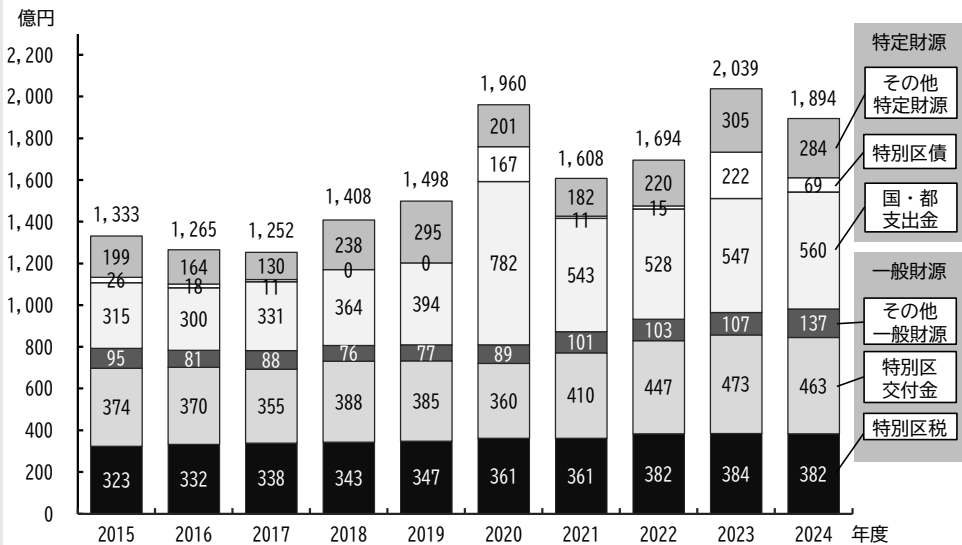
財政状況・財政見通し

【財政状況（歳入・歳出）】

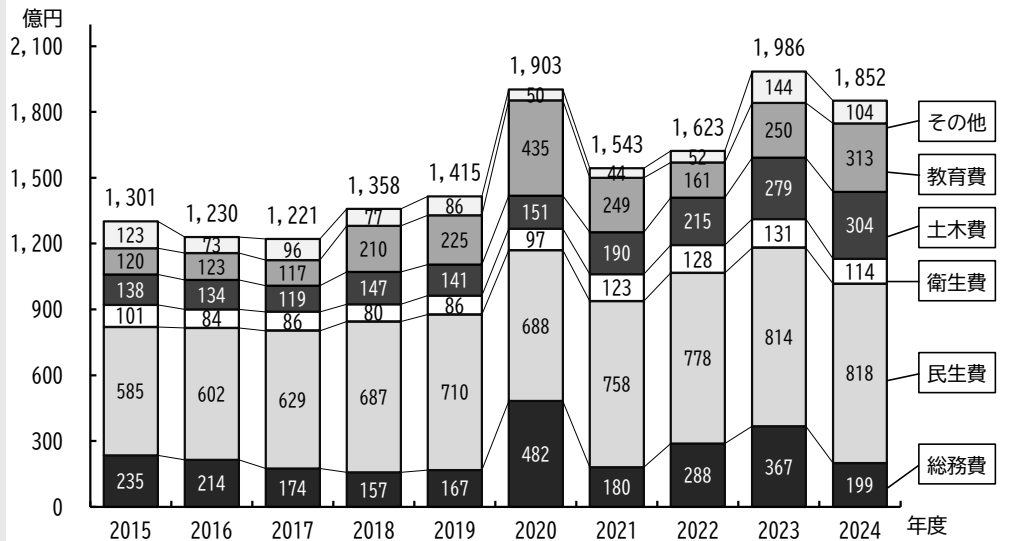
○2024年度決算において、歳入総額は1,894億円で、うち一般財源は981億円となっています。一般財源のうち、特別区税と特別区財政調整交付金は歳入全体の44.6%を占めており、844億円となっています。

○歳出について目的別にみると、教育費については、小中学校施設整備費の増などにより増加しています。一方で、総務費については、新区役所整備の完了などにより減少しています。

■歳入決算額の推移（一般財源・特定財源別）



■歳出決算額の推移（目的別）



財政状況・財政見通し

【財政見通し】

○10年間の財政フレームについて、歳入・歳出額を一般財源ベースで推計しています。

○基金の計画的な積立と繰入を行い、基金の持つ財源の年度間調整機能を活用していきます。

10年間の財政フレーム(一般財源ベース)の見込み

(単位：億円)

		基本計画		次期・ 基本計画	計
		前期	後期		
歳入	特別区税	835	1,255	2,144	4,235
	特別区交付金	930	1,429	2,452	4,811
	その他一般財源	255	392	674	1,322
	基金繰入金	349	512	420	1,281
	特別区債	324	222	263	809
	財産収入等	236	490	345	1,071
	歳入合計	2,928	4,301	6,299	13,528
歳出	義務的経費	975	1,611	2,602	5,189
	人件費	454	714	1,201	2,368
	公債費	136	269	317	748
	扶助費	385	603	1,084	2,073
	繰出金	206	304	495	1,004
	一般事業費	620	959	1,660	3,239
	新規・拡充等事業 (うち施設関連経費)	735	753	815	2,303
		288	340	471	1,098
	基金積立金	393	673	726	1,793
	財政調整基金	47	208	284	539
	減債基金	55	164	63	282
	特定目的基金	291	301	379	971
	歳出合計	2,928	4,301	6,299	13,528

基金の積立・繰入計画

(単位：億円)

種別	区分	基本計画		次期・基本計画
		前期	後期	
財政調整基金	積立	47	208	284
	繰入	43	57	84
	残高	413	564	764
減債基金	積立	55	164	63
	繰入	50	144	94
	残高	17	36	6
義務教育施設整備基金	積立	77	30	55
	繰入	53	59	75
	残高	120	92	72
社会福祉施設整備基金	積立	64	34	42
	繰入	28	27	22
	残高	54	61	81
道路・公園整備基金	積立	52	78	130
	繰入	54	84	122
	残高	47	41	49
まちづくり基金	積立	98	159	151
	繰入	122	141	24
	残高	64	82	210
合計	積立	393	673	726
	繰入	349	512	420
	残高	715	876	1,182
計(減債基金を除く)	残高	699	840	1,177

※残高は、各期末見込を記載しています。

基本計画の体系

本冊 29～35ページ

基本計画体系図

[illegible]

重点プロジェクト

- 基本構想で目指すまちの姿の実現に向け、政策及び施策を効率的かつ効果的に推進するため、政策を超えて共有する理念を重点プロジェクトに掲げ、取り組んでいきます。
- 各プロジェクトでは、それぞれの理念を基に政策横断的な視点をもって重点的に推進する取組を位置付けるとともに、各政策・施策相互の関係性を強化します。
- 重点プロジェクトの推進にあたっては、全庁的な推進体制による進行管理を行うことで、各取組の展開を連動させ、効率的かつ効果的にプロジェクトを実行していきます。

プロジェクト1	子育て先進区の実現
プロジェクト2	地域包括ケア体制の実現
プロジェクト3	活力ある持続可能なまちの実現



プロジェクト1

子育て先進区の実現

プロジェクトの理念

「子ども・子育て家庭と地域のつながりづくりを進めます」

子どもを育て、子どもが成長する過程が、安全・安心かつ将来に向け充実した時間となるよう、地域の多様なつながりをつくっていくことで、子どもと子育て家庭が中野区に住み続けたいとなる環境づくりを進めます。

プロジェクトにおける取組

○子どもの健やかな成長を支えるとともに子育てに関する不安を解消するため、子どもと子育て家庭が必要とする相談や支援、サービスを充実します

政策	施策	主な取組
6	11	②子どもの権利に係る相談支援体制の推進
6	12	②困難を抱える子どもと子育て家庭の生活の支援 ③ひとり親家庭支援の推進
6	13	①子育て家庭の状況把握と相談支援
7	15	①いじめの防止等対策支援 ②不登校対策支援 ④一人ひとりの教育ニーズに応じた指導
7	17	④子育て支援策の充実と保護者支援
8	18	②子どもの放課後等の居場所の確保
8	19	①妊娠・出産・子育てトータル支援 ②子育て支援サービスの充実 ③多胎児家庭への支援
8	20	①保育サービスの提供体制の整備
8	21	②発達課題等がある子どもの支援 ③医療的ケアを必要とする子どもへの支援
10	23	②若者の自立を支援する体制の充実
13	29	①孤独・孤立対策の推進

○子ども一人ひとりがそれぞれの個性に応じて力を伸ばし、活躍できる機会を充実します

政策	施策	主な取組
3	5	①誰もが身近に気軽に親しめる文化芸術の環境づくり ②子ども・若者が文化芸術に触れる機会の充実
4	7	⑤創業・スタートアップ支援
6	11	③子どもの意見表明・参加の推進
6	12	①子どもの学びや経験・体験の支援
7	14	①一人ひとりに応じた学習指導の推進 ③社会の変化に対応した教育の充実 ④保幼小中連携教育の充実 ⑤学校教育における子どもの権利の推進
7	15	②不登校対策支援 ④一人ひとりの教育ニーズに応じた指導
10	23	①若者のチャレンジ支援と区政・地域への反映
15	34	③子どもの運動習慣の定着に向けた取組の促進

プロジェクトにおける取組

○子どものライフステージに合わせた魅力的で行きたくなる場を充実します

政策	施策	主な取組
3	5	②子ども・若者が文化芸術に触れる機会の充実
4	8	③他自治体との連携による商業振興
6	12	①子どもの学びや経験・体験の支援
8	18	①子どもの遊び・体験の場の確保 ⑤中高生年代の子どもの居場所
15	34	③子どもの運動習慣の定着に向けた取組の促進
15	37	②子どもの読書環境の充実 ③図書サービスの利便性の向上

○子どもと子育て家庭が暮らしやすい環境を充実します

政策	施策	主な取組
5	10	①中野駅周辺各地区のまちづくり
9	22	①子育て世帯が暮らしやすい環境の充実 ③魅力ある公園づくり
18	43	①バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり

○子どもの成長を地域全体で支える環境づくりを推進します

政策	施策	主な取組
2	3	③地域における多様な活動の促進
2	4	①区民活動センターの中間支援機能の強化
7	16	②地域と学校の連携・協働の推進 ③部活動の地域展開の推進
8	18	①子どもの遊び・体験の場の確保 ④地域での子育て活動の活性化
8	19	②子育て支援サービスの充実

成果指標

指標：

0～9歳の転出超過数
(5か年平均)

指標設定理由：

**子どもの区内定住の状況を
計るため**

目標値：

473人

現状値：

556人

※2023-2024年の2か年平均

プロジェクト2

地域包括ケア体制の実現

プロジェクトの理念

「全ての人が生活の中で自然に健幸になれる環境をつくります」

だれもが健康かつ生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を送れる地域社会をつくるというスマートウェルネスシティの理念を踏まえ、それぞれの人が必要とするつながりをつくり、健康度と幸福度を高めるための取組を進めます。

プロジェクトにおける取組

○健康無関心層に対して健康への関心を高め、行動変容を促すとともに、その人にあった健康づくりの取組を支援することにより、ヘルスリテラシーの向上を図ります

政策	施策	主な取組
2	4	①区民活動センターの中間支援機能の強化
7	14	②健康・体力を育む教育の推進
8	19	④女性の健康づくりとプレコンセプションケアの促進
12	27	③健康無関心層へのアプローチ
15	34	②スポーツを通じたコミュニティの形成、障害者スポーツの推進 ③子どもの運動習慣の定着に向けた取組の促進
15	35	①健康的な生活習慣の定着促進 ②データ分析や健診等による健康づくりの支援 ④高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

○人々が自律的かつ主体的に健康づくりに取り組み、社会的なつながりを広げていく動機付けにつながるまちづくりを進めます

政策	施策	主な取組
5	9	②中野駅周辺におけるエリアマネジメントの推進
17	40	①新井薬師前・沼袋駅周辺のまちづくり
18	43	①バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり ③魅力的な街並みを形成する景観づくりの推進
18	45	①公園施設の適切な整備・改修
18	46	②区民の快適な移動と回遊の確保

プロジェクトにおける取組

○区民や地域団体が行う様々な活動において、人々が交流することで生まれる「ゆるやかなつながり」を広げながら、ソーシャルキャピタルを醸成します

政策	施策	主な取組
2	3	②人と地域をつなげる情報発信の充実 ③地域における多様な活動の促進
2	4	①区民活動センターの中間支援機能の強化
7	16	②地域と学校の連携・協働の推進
8	18	④地域での子育て活動の活性化
10	23	①若者のチャレンジ支援と区政・地域への反映
12	26	②健幸づくり・交流機会の充実
12	27	③健康無関心層へのアプローチ
15	37	①学びの機会の充実

○様々な状況から、支援の必要な人が支援を求められる環境を整備し、切れ目ない相談支援につなげます

政策	施策	主な取組
1	1	④男女共同参画社会の実現
2	4	①区民活動センターの中間支援機能の強化
6	11	②子どもの権利に係る相談支援体制の推進
6	12	③ひとり親家庭支援の推進
7	15	①いじめの防止等対策支援 ②不登校対策支援
8	18	③乳幼児親子の居場所の充実
8	21	②発達課題等がある子どもの支援
10	23	②若者の自立を支援する体制の充実
11	24	②高齢者の相談支援体制の充実
11	25	①区民それぞれが望む在宅療養生活の実現
13	29	①孤独・孤立対策の推進 ②重層的支援体制整備事業の推進
13	30	①地域生活を支える相談支援の充実・強化 ④障害福祉サービス基盤の充実
13	31	①生活困窮者に対する包括的な自立支援の推進
14	32	④障害に対する理解促進と社会参画支援の充実
14	33	②認知症のある人を支える地域の相談支援体制等の整備 ③認知症のある人やその家族・支援者の居場所づくり

成果指標

指標：
一人あたり後期高齢者医療費
(23区内順位：金額の低い順)

指標設定理由：
特に健康への配慮が必要な年代
の健康改善状況を計るため

目標値：

1位

現状値：

4位

プロジェクト3

活力ある持続可能なまちの実現

プロジェクトの理念

「まちの魅力から生まれるにぎわいを未来につなぎます」

まちの大きな変化が生まれていく中で、現在のにぎわいを将来につないでいくため、文化やアニメコンテンツをはじめとするまちの魅力を高めるとともに、産業や地域の活力となるチャレンジを応援します。

プロジェクトにおける取組

○中野が誇るまちの魅力を高め、発信します

政策	施策	主な取組
3	5	①誰もが身近に気軽に親しめる文化芸術の環境づくり
3	6	②アニメやサブカルチャーなどのコンテンツによる地域ブランド推進
5	9	①中野の新たなシンボルとなる拠点施設の整備 ②中野駅周辺におけるエリアマネジメントの推進
5	10	①中野駅周辺における都市基盤整備 ②中野駅周辺各地区のまちづくり

○地域経済の活性化と地域の様々な活動を促進する仕組みづくりを進めます

政策	施策	主な取組
2	3	③地域における多様な活動の促進
4	7	①伴走型中小企業経営支援体制の構築
4	8	①デジタル地域通貨の拡大
12	27	③健康無関心層へのアプローチ
15	35	①健康的な生活習慣の定着促進 ②データ分析や健診等による健康づくりの支援
16	39	③地域の防災力向上
19	47	④区民等の環境配慮行動の促進
20	50	③自転車の交通安全対策

プロジェクトにおける取組

○歩きたくなるまちづくりを進めるとともに、人の流れを商店街につなげます

政策	施策	主な取組
3	5	①誰もが身近に気軽に親しめる文化芸術の環境づくり
4	8	②コミュニティ形成に資する商店街への支援 ④まちづくりと連携した商店街の活性化
17	40	①新井薬師前・沼袋駅周辺のまちづくり ⑤新たな創出空間の活用
18	43	①バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり ③魅力的な街並みを形成する景観づくりの推進
19	49	②みどりのネットワークの構築

○魅力ある文化・芸術活動を促進するとともに、アニメコンテンツを核とした産学官連携による様々な取組を推進します

政策	施策	主な取組
3	5	①誰もが身近に気軽に親しめる文化芸術の環境づくり ②子ども・若者が文化芸術に触れる機会の充実
3	6	②アニメやサブカルチャーなどのコンテンツによる地域ブランド推進
5	9	②中野駅周辺におけるエリアマネジメントの推進
15	37	①学びの機会の充実

成果指標

指標：

**区内鉄道各駅の乗降者数
(2023年度比)**

指標設定理由：

**にぎわいの源となる区内の人の
流れの状況を計るため**

目標値：

115%

現状値：

100%

基本目標別の政策・施策

基本目標

1

人と人がつながり、
新たな活力が生み出されるまち

基本目標

2

未来ある子どもの育ちを
地域全体で支えるまち

基本目標

3

誰もが生涯を通じて安心して
自分らしく生きられるまち

基本目標

4

安全・安心で住み続けたいくなる
持続可能なまち

基本目標1 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまち

政策1 多様性を生かし新たな価値を生み出す

成果指標：「多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されている」と思う区民の割合

目標値：2020年度 55.8% ➡ 2030年度 向上

政策2 地域愛と人のつながりを広げる

成果指標：「地域愛と人のつながりが広がっている」と思う区民の割合

目標値：2020年度 45.6% ➡ 2030年度 向上

政策3 遊び心あふれる文化芸術をまち全体に展開する

成果指標：「文化・芸術活動が活発に行われ、にぎわいにあふれている」と思う区民の割合

目標値：2020年度 46.7% ➡ 2030年度 向上

政策4 地域経済活動を活性化する

成果指標：「区内産業の発展や新たな企業・店舗の参入などにより、地域経済が活性化している」と思う区民の割合

目標値：2020年度 44.1% ➡ 2030年度 向上

政策5 東京の新たな活力とにぎわいを世界に発信する

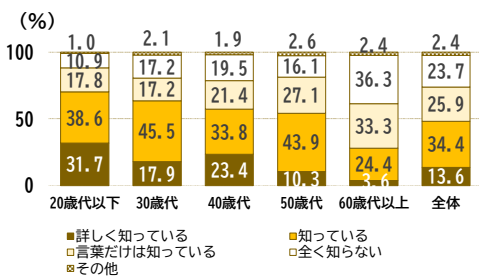
成果指標：「中野駅周辺では活力とにぎわいが生まれている」と思う区民の割合

目標値：2020年度 62.6% ➡ 2030年度 向上

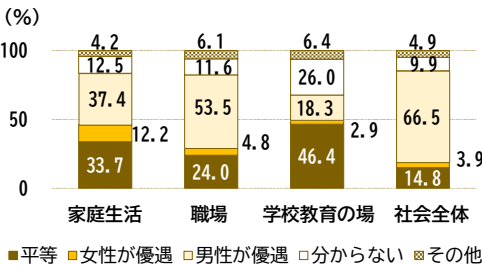
施策1 平和・人権・多様性の尊重（本冊 54～56ページ）

■現状データ

ユニバーサルデザインの年代別認知度



男女の地位が平等だと思う人



■施策の方向性

- ▶戦争の悲惨さや平和の尊さを、幅広い世代に継続して伝える取組を進めます。
- ▶区民等が人権意識を深め、全ての人が、あらゆる差別を受けることなく、それぞれの能力を発揮し、地域社会の一員として暮らすことができる社会の実現を目指す取組を進めます。
- ▶すべての人がそれぞれの意欲や能力に応じて社会参加する「全員参加型社会」やまちの魅力向上による地域の活性化の実現に向けて、区民等がユニバーサルデザインの意識を深める取組を進めます。
- ▶男女共同参画社会に向けた男女双方の理解促進を図るとともに、多様で複雑な問題を抱える女性への支援体制の強化や団体活動等の拠点の整備に向けて、検討を進めていきます。

■成果指標

	現状値	目標値
①ユニバーサルデザインの理解度	48.0% (2024年度)	54%
②社会全体における男女の地位が平等だ と思う区民の割合	14.8% (2024年度)	22%

■主な取組

- ①平和意識の啓発 【企画課】
- ②人権意識の啓発 【企画課】
- ③ユニバーサルデザインの普及啓発 【企画課】
- ④男女共同参画社会の実現 【企画課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・パートナーシップ宣誓
- ・男女共同参画及びDV・デートDV防止等普及啓発
- ・男女共同参画センター整備

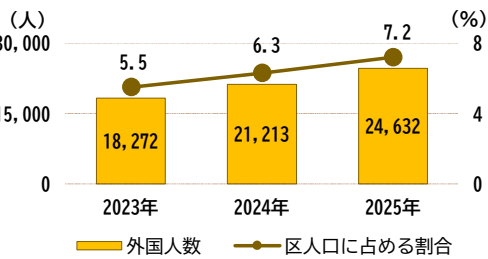
SDGsのゴール
との関係



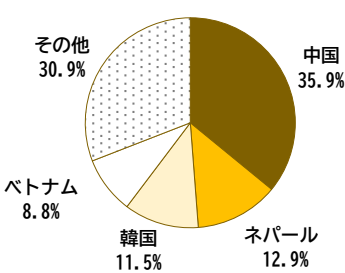
施策2 多文化共生のまちづくりの推進（本冊 57～59ページ）

■現状データ

外国人住民数（各年1月1日）



国籍別外国人住民数（2025年1月1日）



■施策の方向性

- ▶外国人住民等が地域で安心して暮らすことができるよう、多言語・やさしい日本語での情報提供や相談対応、日本語教育の充実など、生活に必要な環境を整備します。
- ▶海外友好都市・諸外国との交流を推進するとともに、地域における様々な参画・交流を生み出すなど、区民の国際理解を深め、多文化共生のまちづくりを総合的に進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①地域に暮らす外国人と交流する機会があると思う区民の割合	11.7% (2024年度)	25%
②生活に必要な情報発信が充実していると思う外国人の割合	—	—

■主な取組

- ①外国人住民等が安心して暮らしていくための生活の支援
【文化振興・多文化共生推進課、区民サービス課ほか】
- ②多様な文化を受け入れるための意識の啓発
【文化振興・多文化共生推進課】
- ③外国人住民等が地域の一員として活動していくための支援
【文化振興・多文化共生推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・外国人住民等生活支援事業
- ・区民と外国人住民等の多文化・国際交流事業
- ・外国人住民等への日本語支援事業

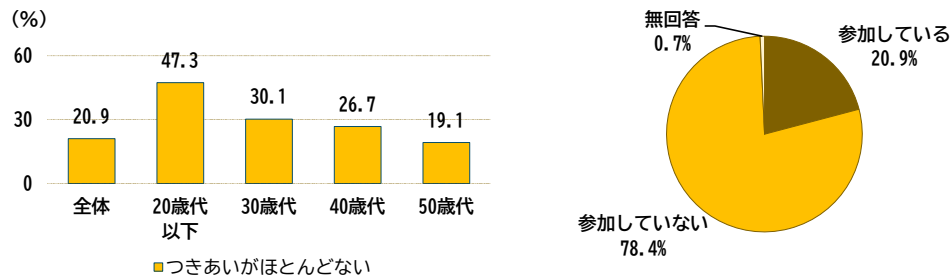
SDGsのゴールとの関係



施策3 人のつながりと愛着が生まれる地域づくり（本冊 62～64ページ）

■現状データ

「近所とのつきあいがほとんどない」と感じる人の割合 地域活動への参加状況



■施策の方向性

- ▶常日頃からのご近所同士のつながりやあいさつ等、互いの顔が見え、困りごとがあった時に助け合えるような人間関係が構築される取組を進めます。
- ▶区民が身近な地域活動を知るきっかけを作り、地域への愛着を持って活動に参加できるよう、人と人とのつながりの創出や地域課題の解決につながる活動の維持・促進に向けた取組を推進します。

■成果指標

	現状値	目標値
①住民同士の交流の場があると感じている区民の割合	29.7% (2022年度)	40%
②地域活動を行っている区民の割合	20.9% (2022年度)	25%

■主な取組

- ①町会・自治会との協働による地域づくり 【地域活動推進課】
- ②人と地域をつなげる情報発信の充実 【地域活動推進課】
- ③地域における多様な活動の促進 【地域活動推進課】

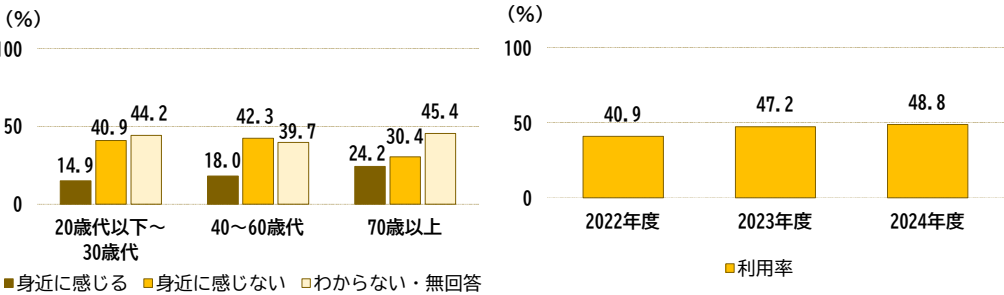
■主な事業（新規・拡充等）

- ・地域活動団体活性化支援事業

施策4 地域の自主的な活動の推進と環境づくり（本冊 65～67ページ）

■現状データ

年代別の区民活動センターを身近に感じる人の割合 区民活動センターの集会室利用率



■施策の方向性

- ▶区民活動センターが有する地域活動支援、アウトリーチ、地域情報の収集・発信等の機能を高め、非常時も含めた地域における拠点性を確立・強化します。
- ▶区民活動センターにおけるDXを進めるとともに、運営委員会を含めた区民活動センター組織のマネジメント力を強化します。

■成果指標

	現状値	目標値
①区民活動センターを身近に感じる人の割合	19% (2022年度)	25%
②区民活動センター集会室利用率 (15施設の平均)	48.8% (2024年度)	60%

■主な取組

- ①区民活動センターの中間支援機能の強化 【地域活動推進課】
- ②区民活動センターのデジタル環境整備 【地域活動推進課】
- ③非常時の地域拠点形成、防災イベントを通じた関係づくり 【地域活動推進課】
- ④区民活動センター整備 【地域活動推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・産学公連携による地域活動を活用した実証実験
- ・デジタル活用による区民活動センターの情報収集・発信機能強化
- ・アウトリーチ情報のデータベース化
- ・地域防災イベント事業
- ・区民活動センター整備

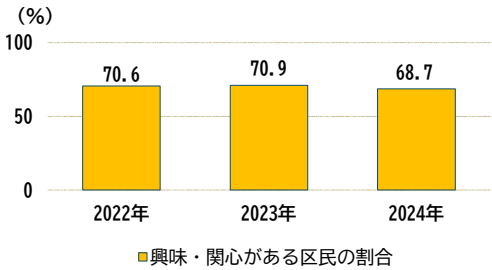
SDGsのゴールとの関係



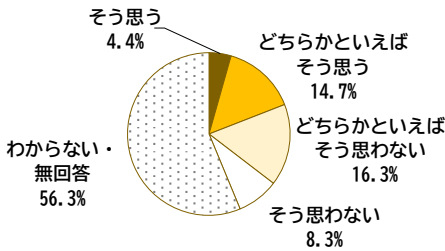
施策5 誰もが身近に文化芸術に親しめる環境づくり（本冊 70～72ページ）

■現状データ

芸術や文化の鑑賞、文化イベントへの興味・関心がある区民の割合



子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会が十分にあると思う区民の割合



■施策の方向性

- ▶まちづくりの進展を踏まえ、より豊かな区民生活を実現するため、誰もが身近に気軽に文化芸術に親しめる環境づくり、区民が主役の文化・芸術活動の活性化、次世代育成に資する文化芸術の鑑賞・体験機会の充実など文化芸術の振興に向け、総合的に取組を進めます。
- ▶中野らしい歴史・伝統文化の保存、継承及び活用を進め、区民が身近に触れ、感じることができる環境づくりを進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①中野区の文化的環境に満足していると思う区民の割合	31.5% (2024年度)	40%
②子どもの文化・芸術の鑑賞、体験機会があると思う区民の割合	19.1% (2024年度)	30%

■主な取組

- ①誰もが身近に気軽に親しめる文化芸術の環境づくり
【文化振興・多文化共生推進課】
- ②子ども・若者が文化芸術に触れる機会の充実
【文化振興・多文化共生推進課、学務課】
- ③区民が主役の文化・芸術活動の活性化
【文化振興・多文化共生推進課】
- ④歴史・伝統文化の保存・継承・活用
【文化振興・多文化共生推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・文化施設の魅力向上に資する運営・情報発信
- ・中野サンプラザ南側広場等活用事業
- ・次世代育成に資する文化・芸術の鑑賞・体験機会創出事業
- ・旧中野刑務所正門保存活用事業
- ・区の歴史・文化の普及啓発事業

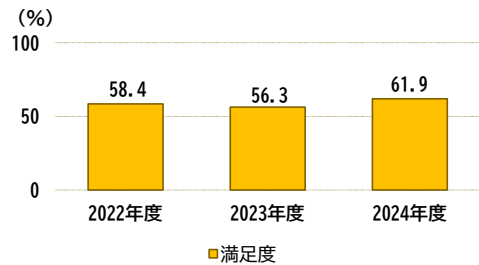
SDGsのゴールとの関係



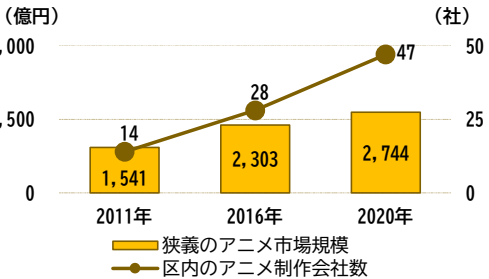
施策6 魅力的な地域資源の発掘・発信（本冊 73～75ページ）

■現状データ

区の観光施策に対する満足度



アニメ市場規模と中野区内のアニメ制作会社数



■施策の方向性

- ▶区のシティプロモーションとして、区内事業者・団体、区民のつながり・絆づくりや、歴史やアニメ、サブカルチャー、グルメなど、個性豊かな地域資源を掘り起こし、それらの魅力を積極的に情報発信します。さらに、集客力・発信力のあるイベントの支援・誘導などを進めます。
- ▶多様な主体との連携により、アニメ事業を地域ブランド確立の柱の一つとして推進します。アニメコンテンツを活用したイベント等により、中野駅西側南北通路などを起点とした回遊性を創出し、中野駅周辺をはじめとするまちづくりの進展を見据えたにぎわい形成につなげていきます。

■成果指標

	現状値	目標値
①公募ワークショップの実施団体数（個人主催を含む）	36団体（2024年度）	60団体
②中野区の街の魅力（ブランドイメージ）としてふさわしいと思うものに「アニメ、サブカルチャー文化やコンテンツ産業が豊富」を選択した区民の割合	45%（2024年度）	55%

■主な取組

- ①魅力的な地域資源の発掘と発信 【文化振興・多文化共生推進課】
- ②アニメやサブカルチャーなどのコンテンツによる地域ブランド推進 【文化振興・多文化共生推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・地域資源発掘・情報発信事業
- ・アニメでつながる中野実行委員会事業
- ・アニメ事業者連携事業
- ・中野サンプラザ南側広場等活用事業

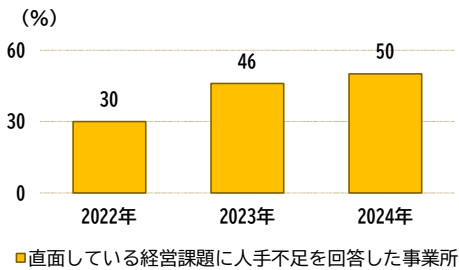
SDGsのゴールとの関係



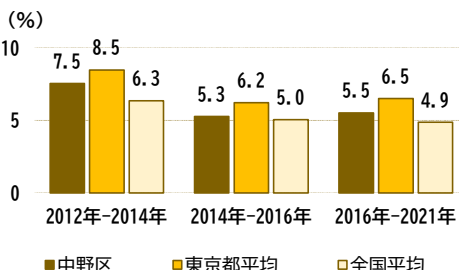
施策7 持続可能な地域経済を支える中小企業の振興（本冊 78～81ページ）

■現状データ

区内企業者の人手不足の状況



創業比率



■施策の方向性

▶中野区の立地や環境を生かした中小企業振興策を実施し、中小企業の経営安定化、中小企業の取組・活動応援、創業・イノベーション促進を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①経営支援（相談）の件数	778件 (2024年度)	850件
②区内民営事業所数	11,962件 (2021年)	12,500件

■主な取組

- ①伴走型中小企業経営支援体制の構築 【産業振興課】
- ②助成金及び融資制度の拡充、見直し 【産業振興課】
- ③人材確保・定着支援の拡充、見直し 【産業振興課】
- ④経営者・事業者間のネットワーク形成促進 【産業振興課】
- ⑤創業・スタートアップ支援 【産業振興課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・伴走型中小企業経営支援
- ・産業振興拠点の改修
- ・経営力強化支援事業
- ・人材確保総合支援事業
- ・雇用・就労支援
- ・経営者ネットワーク形成支援
- ・女性や若手を対象とした創業支援
- ・創業教育
- ・金融機関等と連携した創業支援

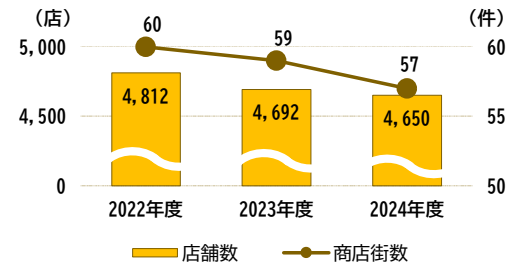
SDGsのゴールとの関係



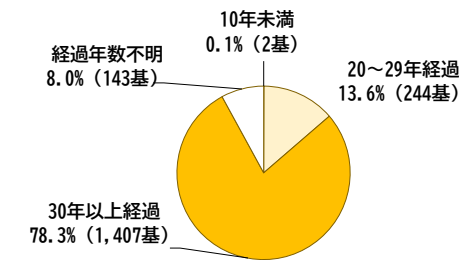
施策8 商店街の活性化支援によるにぎわい空間の創出（本冊 82～84ページ）

■現状データ

区内の店舗数と商店街数



商店街街路灯・アーチの設置後の経過年数
(2024年度時点)



■施策の方向性

- ▶商店街のコミュニティ形成・維持の機能への支援を強化します。また、キャッシュレス化と個店支援による商店街支援を進めます。
- ▶まちづくりとの連携や自治体間での交流を進め、商店街に人の流れをつなげます。

■成果指標

	現状値	目標値
①デジタル地域通貨（ナカペイ）の流通総額	1,894,114,000円 (2024年度)	2,000,000,000円
②商店街イベントでデジタル地域通貨（ナカペイ）を活用したイベント数	—	15件

■主な取組

- ①デジタル地域通貨の拡大 【産業振興課】
- ②コミュニティ形成に資する商店街への支援 【産業振興課】
- ③他自治体との連携による商業振興 【産業振興課】
- ④まちづくりと連携した商店街の活性化 【産業振興課、まちづくり事業課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・ デジタル地域通貨事業
- ・ 伴走型中小企業経営支援
- ・ ナカペイを活用した商店街支援
- ・ 経済・体験交流事業
- ・ 区画街路第4号線（沼袋駅のバス通り）沿道にぎわい創出
- ・ 区画街路第3号線（新井薬師前駅南側の交通広場）事業の進捗に応じた商店街支援

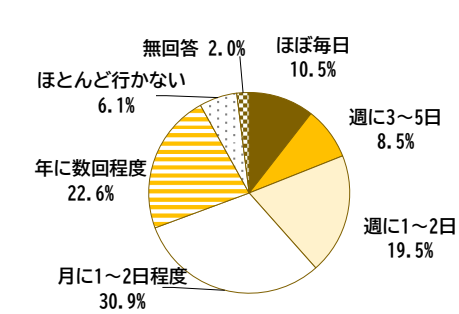
SDGsのゴールとの関係



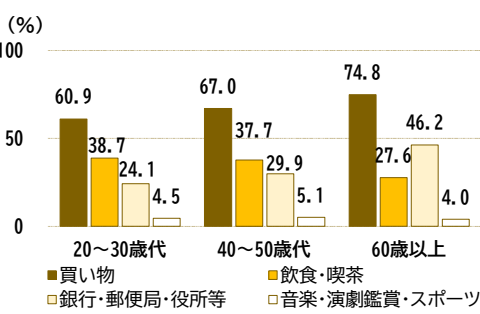
施策9 中野駅周辺における新たな魅力や価値の創出・発信（本冊 86～88ページ）

■現状データ

中野駅周辺に行く頻度



中野駅周辺に行く目的



■施策の方向性

- ▶文化・芸術活動等発信拠点の形成等のにぎわいや交流を生み出す取組などにより、中野駅周辺のまちの魅力を持続的に維持向上させる仕組みを構築し、区内外から人や企業を呼び込みます。
- ▶多様な主体を結びつけ、協働することにより、実効的なエリアマネジメントを推進し、まちの魅力や価値を向上させるとともに、周辺地域へ波及させる取組を誘導します。

■成果指標

	現状値	目標値
①中野駅周辺を利用する際に不満を感じている区民の割合	53.5% (2024年度)	43%
②中野駅の乗車人数（1日平均）のJR東日本エリア内での順位	17位 (2024年度)	15位

■主な取組

- ①中野の新たなシンボルとなる拠点施設の整備
【中野駅周辺まちづくり課、文化振興・多文化共生推進課】
- ②中野駅周辺におけるエリアマネジメントの推進
【中野駅周辺まちづくり課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・中野駅新北口駅前エリアのまちづくり
- ・中野サンプラザ南側広場等活用事業
- ・中野駅周辺エリアマネジメント推進事業

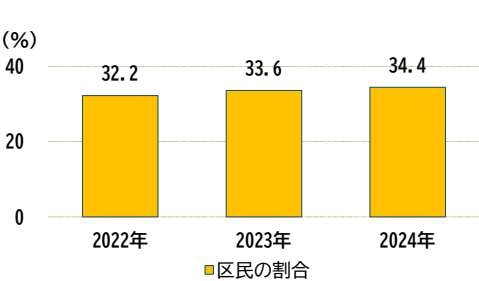
SDGsのゴールとの関係



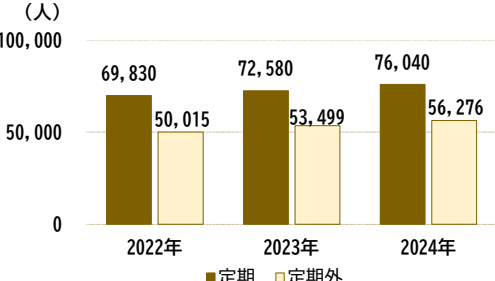
施策10 中野駅周辺まちづくりにおける都市基盤の整備と多様な都市機能の誘導（本冊 89～91ページ）

■現状データ

区が特に力を入れていると感じる施策に「駅前などの重点的まちづくり」を選択した区民の割合



中野駅の乗車人員（1日平均）



■施策の方向性

- ▶来街者や駅利用者の利便性・回遊性を高めるため、中野駅西側南北通路・橋上駅舎整備や駅前広場の整備をはじめ、各地区におけるまちづくりにより、地区相互の回遊動線の強化・形成を図ります。
- ▶多様な都市機能の集積や居住環境の向上を図るため、各地区の特性を生かし、公民連携でのまちづくりを推進します。

■成果指標

	現状値	目標値
①区が特に力を入れていると感じる施策に「駅前などの重点的まちづくり」を選択した区民の割合	34.4% (2024年度)	40%
②中野駅周辺における都市基盤整備の進捗率	60.0% (2024年度)	100%

■主な取組

- ①中野駅周辺における都市基盤整備 【中野駅周辺まちづくり課】
- ②中野駅周辺各地区のまちづくり 【中野駅周辺まちづくり課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・中野駅西側南北通路・橋上駅舎整備
- ・中野駅新北口駅前広場整備
- ・中野駅西口広場整備
- ・中野駅南口駅前広場整備
- ・中野駅新北口駅前エリアのまちづくり
- ・中野二丁目土地地区画整理事業
- ・中野三丁目土地地区画整理事業
- ・中野四丁目土地地区画整理事業
- ・囲町東地区第一種市街地再開発事業
- ・囲町西地区第一種市街地再開発事業
- ・（仮称）中野四丁目西地区第一種市街地再開発事業

SDGsのゴールとの関係



基本目標２ 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち

政策６ 子どもの命と権利を守る

成果指標：「子どもの命と権利を守る体制が整っている」と思う区民の割合

目標値：2020年度 40.1% ➡ 2030年度 向上

政策７ 社会の変化に対応した質の高い教育を実現する

成果指標：「質の高い学校教育が行われている」と思う区民の割合

目標値：2020年度 38.9% ➡ 2030年度 向上

政策８ まち全体の子育ての力を高める

成果指標：「子育て活動が活発であるとともに、子育てしやすい体制が整っている」と思う区民の割合

目標値：2020年度 36.4% ➡ 2030年度 向上

政策９ 子育て世帯が住み続けたくなるまちをつくる

成果指標：「子育て世帯が住み続けたくなるまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合

目標値：2020年度 39.6% ➡ 2030年度 向上

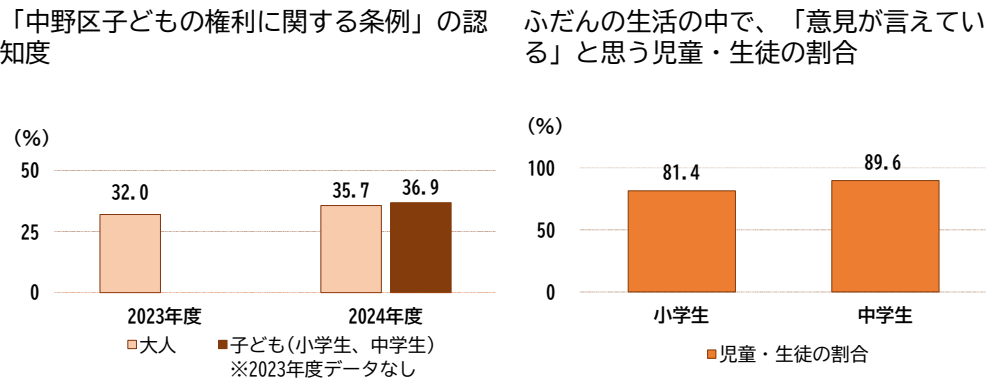
政策１０ 若者のチャレンジを支援する

成果指標：「若者がチャレンジできる環境が整っている」と思う区民の割合

目標値：2020年度 25.7% ➡ 2030年度 向上

施策11 子どもの権利保障と意見表明・参加の促進（本冊 96～98ページ）

■現状データ



■施策の方向性

- ▶「中野区子どもの権利に関する条例」に掲げる子どもにやさしいまちづくりの推進に向けて、区民等が子どもの権利を理解するとともに、子どもたちが自らの権利を理解し、他者の権利を尊重できるよう、意識の啓発を図ります。また、「子どもの最善の利益」を踏まえた子どもの権利保障に取り組みます。
- ▶子どもが社会の一員として積極的に意見を表明することにより、自らの権利や他者の権利を考える機会を充実します。また、子どもが様々な場面で多様な意見を表明できるよう、意見表明しやすい環境を整え、日常的な意見表明や主体的な参加を促進します。

■成果指標

	現状値	目標値
①「中野区子どもの権利に関する条例」の認知度	大人：35.7% 子ども：36.9% (2024年度)	大人：49.2% 子ども：50.9%
②「自分のことが好きだ」と思う児童・生徒の割合	小学生：70.6% 中学生：64.3% (2024年度)	小学生：84.3% 中学生：76.8%

■主な取組

- ①中野区子どもの権利に関する条例の推進
【子ども・教育政策課、指導室】
- ②子どもの権利に係る相談支援体制の推進 【子ども・教育政策課】
- ③子どもの意見表明・参加の推進 【子ども・教育政策課ほか】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・子どもの権利に関する条例の推進
- ・子どもオンブズマン制度の運営
- ・子どもの意見表明・参加の機会確保

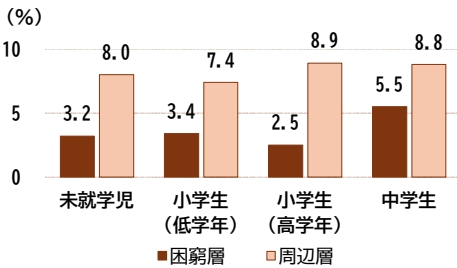
SDGsのゴールとの関係



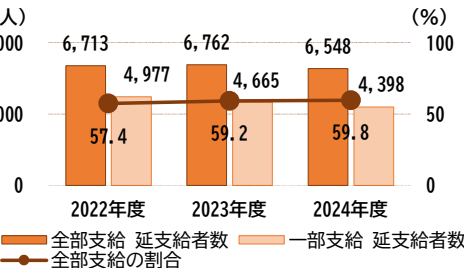
施策12 生活に困難を抱える子育て家庭への支援（本冊 99～101ページ）

■現状データ

生活困難層の割合



区の児童扶養手当受給者数



■施策の方向性

- ▶生活が困難な状況にある子どもがその権利利益を害されることなく、社会から孤立することのないよう、適切な養育や学び、経験・体験など、多様な視点から総合的な支援を行います。
- ▶ひとり親家庭等が安心して地域の中で生活を営むことができるよう、相談支援を行うとともに、養育や住宅などの課題に対し、総合的な対策を行います。

■成果指標

- ①授業が「よくわからない」と感じる困窮層の子ども（小・中学生）の割合
- ②「がんばれば、むくわれると思う」と答える子ども（小・中学生）の割合

	現状値	目標値
①授業が「よくわからない」と感じる困窮層の子ども（小・中学生）の割合	小学生：26.3% 中学生：45.0% (2024年度)	小学生：20% 中学生：40%
②「がんばれば、むくわれると思う」と答える子ども（小・中学生）の割合	小学生：79.6% 中学生：72.9% (2024年度)	小学生：85% 中学生：80%

■主な取組

- ①子どもの学びや経験・体験の支援
【子育て支援課、子ども・教育政策課】
- ②困難を抱える子どもと子育て家庭の生活の支援 【子育て支援課】
- ③ひとり親家庭支援の推進 【子育て支援課】

■主な事業（新規・拡充等）

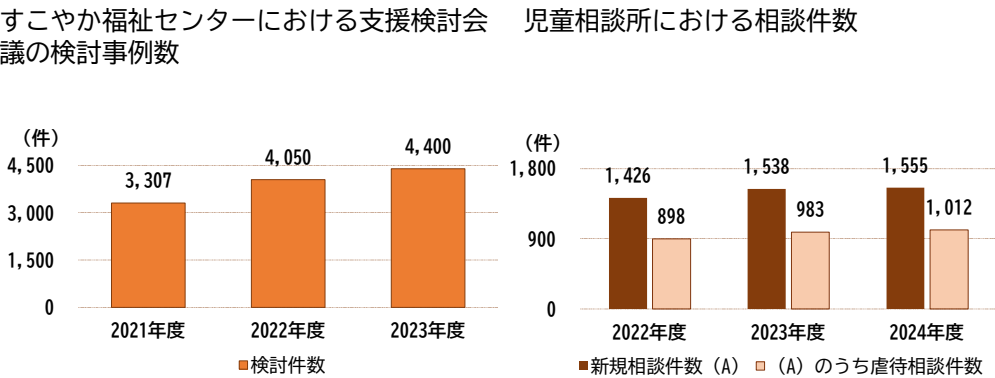
- ・子どもの経験・体験事業
- ・子どもの学習の支援
- ・給付型奨学金事業
- ・食に関わる支援事業
- ・ひとり親家庭支援事業

SDGsのゴールとの関係



施策13 児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応（本冊 102～105ページ）

■現状データ



■施策の方向性

▶児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応、育児中等の不安や孤立の早期解消に向け、児童相談所を含む子ども・若者支援センター、すこやか福祉センター（こども家庭センター）、基幹型児童館（地域子育て相談機関）が関係機関や地域と連携を図りながら、児童虐待への地域全体の対応力と一貫した相談支援体制を強化していきます。また、児童相談所を含む、子ども・家庭の相談支援機関について、地域の子ども・大人が相談しやすいと感じることができるよう周知等の工夫を図ります。

▶虐待を受けた子どもや家庭での養育が困難な子どもが、良好な社会的養育のもとで継続的に養育される環境づくりを進めます。また、社会的養護から自立する際に児童などが社会的孤立や生活困窮に陥らず、安心・安定した生活を送れるように支援の充実を図ります。

■成果指標

	現状値	目標値
①虐待を理由とする一時保護の再保護件数	0件 (2024年度)	0件
②要保護児童対策地域協議会の専門研修受講者数	183人 (2024年度)	228人

■主な取組

- ①子育て家庭の状況把握と相談支援
【すこやか福祉センター、児童福祉課、育成活動推進課】
- ②養育支援体制の充実
【子ども・若者相談課、すこやか福祉センター】
- ③虐待対応体制の強化
【児童福祉課、子ども・若者相談課、子ども・教育政策課ほか】
- ④永続的な養育環境整備の充実
【児童福祉課、子ども・若者相談課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・親子関係形成支援事業
- ・児童館の機能強化
- ・児童相談所運営
- ・中野区社会的養育推進計画の推進
- ・里親養育包括支援事業（フォスタリング）

SDGsのゴールとの関係

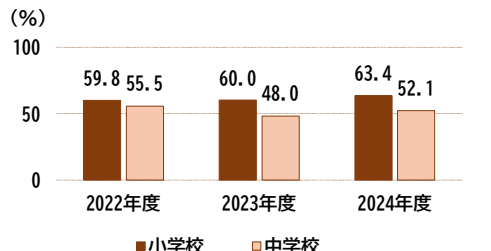
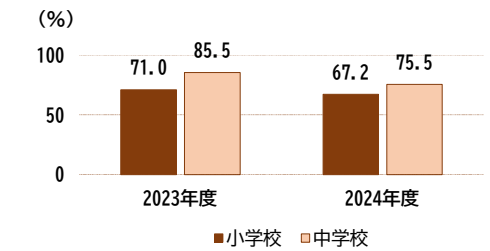


施策14 子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実（本冊 108～112ページ）

■現状データ

授業でPC・タブレットなどのICT機器を週3日以上使っている児童・生徒の割合

授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている児童・生徒の割合



■施策の方向性

- ▶子どもたちが確かな学力を身に付けられるよう、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる取組をより一層推進します。
- ▶子どもたちが、健康や運動に関する知識を身に付け、運動の楽しさを実感し、生涯にわたり心身ともに健康で安全に過ごすことができる教育を推進します。
- ▶子どもたちが、情報活用能力や国際社会で活躍できる能力など、社会の変化に対応した力を身に付けることができる教育を推進します。
- ▶保育園、幼稚園、小・中学校の連携による学びの連続性を大切にした教育を推進します。
- ▶子どもの意見を尊重した教育活動を推進し、子どもの権利を自分事と捉えられるよう取組を充実します。

SDGsのゴールとの関係



■成果指標

	現状値	目標値
①自分たちの学習や生活をよくするための話し合いや活動に、すすんで取り組んでいる児童・生徒の割合	小学校：72.0% 中学校：76.3% (2024年度)	小学校：80% 中学校：85%
②授業でPC・タブレットなどのICT機器を週3日以上使っている児童・生徒の割合	小学校：67.2% 中学校：75.5% (2024年度)	小学校：100% 中学校：100%

■主な取組

- ①一人ひとりに応じた学習指導の推進 【指導室】
- ②健康・体力を育む教育の推進 【指導室、学務課、スポーツ振興課】
- ③社会の変化に対応した教育の充実 【指導室】
- ④保幼小中連携教育の充実 【指導室、子ども・教育政策課】
- ⑤学校教育における子どもの権利の推進 【指導室】

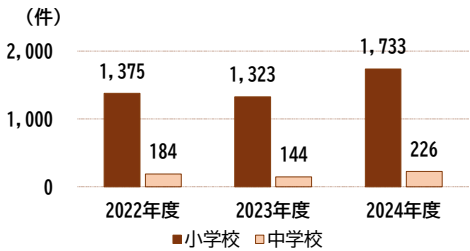
■主な事業（新規・拡充等）

- ・教員の人材育成事業
- ・小中連携教育
- ・体育事業
- ・部活動の地域連携・地域展開の推進
- ・地域スポーツクラブ事業
- ・ICTを活用した教育の推進
- ・国際理解教育
- ・学校図書館運営
- ・保幼小中連携教育
- ・子どもの意見を反映させた教育活動

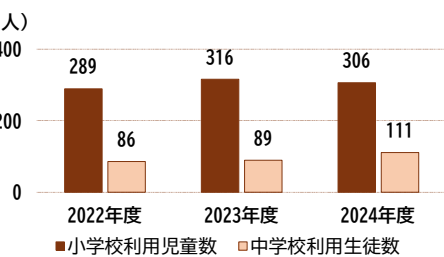
施策15 一人ひとりの子どもの状況に応じた教育と支援の充実（本冊 113～115ページ）

現状データ

いじめの認知件数



巡回指導利用児童・生徒数



施策の方向性

- ▶学校と保護者、行政、関係機関、地域が連携し、いじめの防止等に取り組むとともに、不登校やひきこもりの状態にあるすべての児童・生徒に対して、教育と福祉の両面から個々の状況に応じた支援を行うことができるよう体制を充実します。
- ▶発達の課題や障害、国籍など一人ひとりに応じた教育を充実させ、すべての子どもが主体的に学ぶことができる機会の確保と環境の充実に取り組みます。

成果指標

	現状値	目標値
①自分が通う小・中学校の児童・生徒であることの満足度	小学校：81.0% 中学校：80.9% (2024年度)	小学校：100% 中学校：100%
②「学校生活支援シート（個別の教育支援計画）の作成に当たり、学校と話し合うことができた」という保護者の割合	84.4% (2024年度)	95%

主な取組

- ①いじめの防止等対策支援 【指導室】
- ②不登校対策支援 【指導室】
- ③日本語指導の充実 【指導室】
- ④一人ひとりの教育ニーズに応じた指導 【指導室、学務課】
- ⑤就学相談の充実 【学務課】

主な事業（新規・拡充等）

- ・いじめ防止等対策事業
- ・不登校児童・生徒への支援事業
- ・日本語適応事業
- ・特別支援教育

SDGsのゴールとの関係

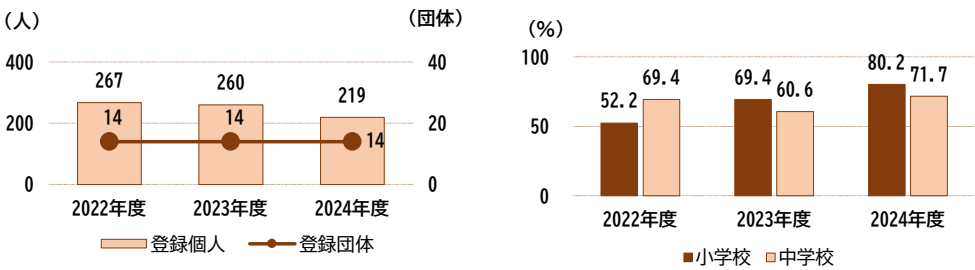


施策16 特色ある学校づくりと家庭・地域との協働による学校運営の推進（本冊 116～118ページ）

■現状データ

学校支援ボランティア登録者、団体数

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童・生徒の割合



■施策の方向性

▶地域での多様な体験活動を通じて、多くの人と関わり、協力する楽しさや社会の中で自分が役立つ喜びを味わうことで、社会性や郷土を愛する心等を育む教育を推進していきます。

▶学校ごとに設置した学校運営協議会をさらに活性化し、学校ごとの課題を学校・家庭・地域で協議し、よりよい学校の運営に活かしていきます。

■成果指標

	現状値	目標値
①「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と思う児童・生徒の割合	小学校：80.2% 中学校：71.7% (2024年度)	小学校：90% 中学校：80%
②まつりやイベントなどの地域の行事に参加したことがある児童・生徒の割合	小学校：86.0% 中学校：85.6% (2025年度)	小学校：90% 中学校：90%

■主な取組

- ①地域での多様な体験活動 【指導室】
- ②地域と学校の連携・協働の推進 【子ども・教育政策課】
- ③部活動の地域展開の推進 【指導室、スポーツ振興課】

■主な事業（新規・拡充等）

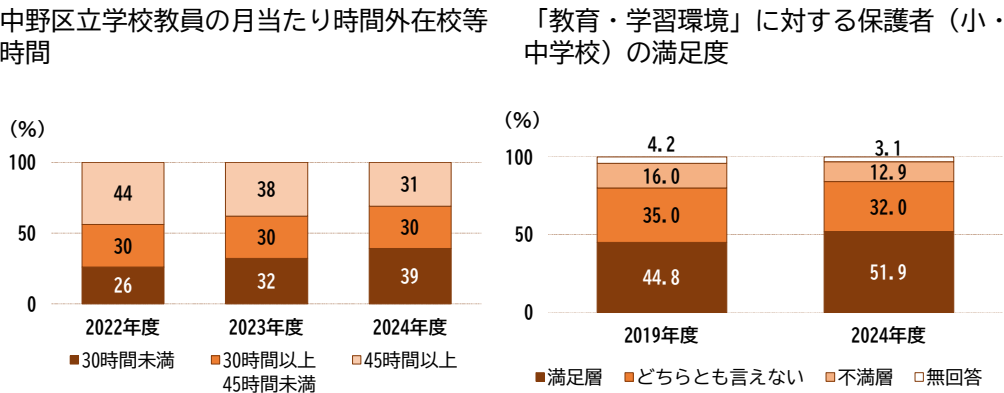
- ・学校運営協議会の運営支援
- ・地域コーディネーターの活動支援
- ・部活動の地域連携・地域展開の推進

SDGsのゴールとの関係



施策17 一人ひとりの可能性を伸ばす学校教育の充実・支援（本冊 119～121ページ）

■現状データ



■施策の方向性

- ▶学校施設の改築整備や改修を着実に進め、良好な教育環境の実現を推進します。
- ▶子どもの学びの環境を充実するため、学校のICT環境の整備を進めます。
- ▶教員が心身ともに充実した状態で、学びの専門職としての「働きやすさ」と「働きがい」を両立し、日々活き活きと児童・生徒と接することができるよう働き方改革を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①「教育・学習環境」に対する保護者（小・中学校）の満足度	51.9% (2024年度)	60.3%
②「公立学校の施設」に対する子どもの満足度	67.1% (2024年度)	76.1%

■主な取組

- ①学校施設の改築・改修 【子ども教育施設課】
- ②GIGAスクール構想等に対応したICT環境の整備 【学務課】
- ③教員の働き方改革の推進 【学務課、指導室、子ども・教育政策課】
- ④子育て支援策の充実と保護者支援 【学務課】

■主な事業（新規・拡充等）

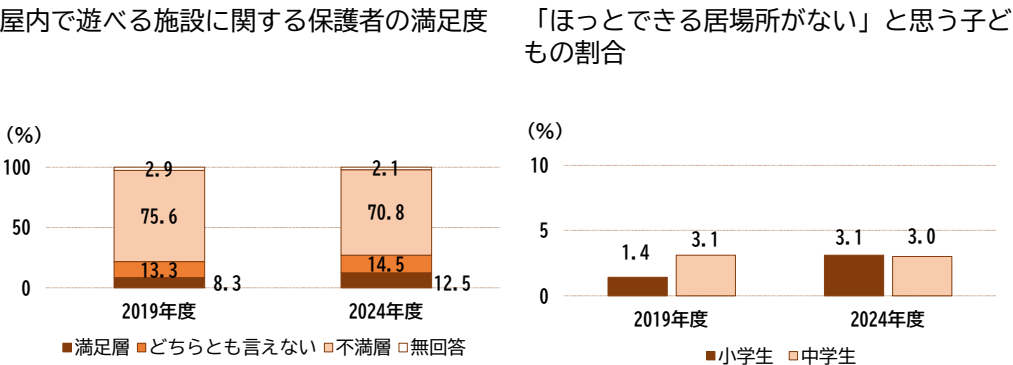
- ・区立小・中学校施設整備
- ・区立小・中学校のICT化環境整備
- ・学校における働き方改革の推進
- ・区立学校の教育に関する費用負担補助事業

SDGsのゴールとの関係



施策18 多様な子どもの居場所づくりの推進（本冊 124～128ページ）

■現状データ



■施策の方向性

▶様々な価値観を持つ子どもたちが安全・安心に過ごせ、遊び・学び・体験ができる場を充実します。また、ライフステージに応じ、身近な地域で子どもが過ごせる居場所づくりを進めます。

▶子育て支援活動の活性化に向け、子育て支援を担う人材の発掘や子育て関連団体のネットワーク化を進めます。子育て家庭が地域の中で安心して暮らせるよう、地域における連携・取組を強化し、子育て支援活動を促進します。

■成果指標

	現状値	目標値
①「ほっとできる居場所がない」と思う子どもの割合	小学生：3.1% 中学生：3.0% (2024年度)	0%
②保護者からみた「遊び・憩いの環境」に関する満足度	25.5% (2024年度)	40.5%

■主な取組

- ①子どもの遊び・体験の場の確保
【育成活動推進課、子ども・教育政策課、公園課】
- ②子どもの放課後等の居場所の確保 【育成活動推進課、学務課】
- ③乳幼児親子の居場所の充実 【育成活動推進課】
- ④地域での子育て活動の活性化 【育成活動推進課】
- ⑤中高生年代の子どもの居場所
【育成活動推進課、子ども・教育政策課、子ども・若者相談課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・児童館の機能強化
- ・プレーパークの推進
- ・中野区公園再整備計画による再整備
- ・トイレ環境の改善
- ・キッズ・プラザ整備・運営
- ・学童クラブ整備・運営
- ・児童の早朝見守り事業
- ・児童館における子育て活動支援
(団体活動支援、利用者支援における地域連携)
- ・中高生年代向け拠点施設整備
- ・中高生年代の居場所事業
- ・中高生年代の区有施設の利用促進

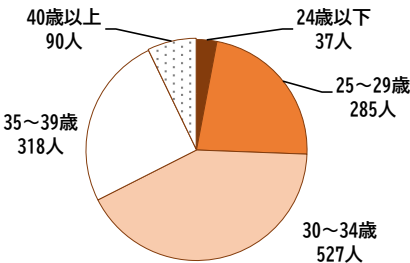
SDGsのゴールとの関係



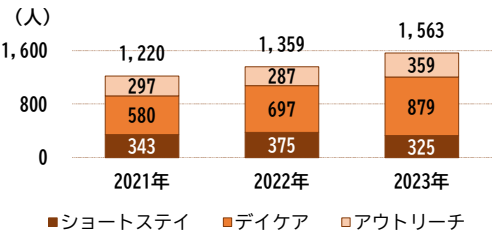
施策19 妊娠から子育てにかかる切れ目ない相談支援体制の充実（本冊 129～132ページ）

■現状データ

第1子出生時の母の年齢別人数（2023年）



産後ケア事業利用実績



■施策の方向性

- ▶安心して妊娠・出産・育児をすることが出来るよう、妊娠から子育てにかかる切れ目ない一貫した相談支援体制の充実を図ります。
- ▶子育て家庭のライフスタイルやニーズに応じた多様な子育てサービスの充実と利用促進に向けた取組を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①妊産婦に対する妊産期相談支援事業実施の割合	97% (2024年度)	98%
②子育てサービスを必要に応じて利用できた割合	96.4% (2023年度)	98%

■主な取組

- ①妊娠・出産・子育てトータル支援
【すこやか福祉センター、子育て支援課】
- ②子育て支援サービスの充実
【子育て支援課、子ども・教育政策課、子ども・若者相談課ほか】
- ③多胎児家庭への支援 【すこやか福祉センター】
- ④女性の健康づくりとプレコンセプションケアの促進
【すこやか福祉センター、地域包括ケア推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・乳幼児健康診査
- ・妊娠出産トータル支援事業
- ・母子保健DXに伴う体制づくり
- ・子育てサービス事業
- ・利用者支援事業
- ・多胎妊婦・多胎児家庭支援事業
- ・地域健康学習支援
- ・女性の健康づくり

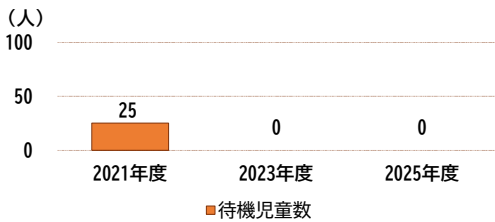
SDGsのゴールとの関係



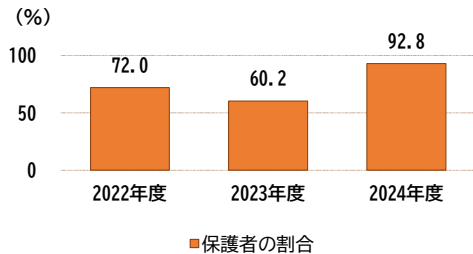
施策20 将来を見通した幼児教育・保育の実現（本冊 133～135ページ）

■現状データ

保育所等利用待機児童数



「中野区保育の質ガイドライン」を知っている保護者のうち、ガイドラインが教育・保育に役立てられていると感じる保護者の割合



■施策の方向性

- ▶待機児童を生じさせない取組を推進するとともに、保育施設等における空き定員の活用を進めます。
- ▶区立幼稚園・保育園の役割を踏まえた適切な運営を進め、区と民間の連携・協働を強化し、民間保育施設等に対する必要な支援を行っていくことと併せて、子どもの成長・発達に十分配慮した質の高い幼児教育・保育を行っていきます。

■成果指標

	現状値	目標値
①保育所等利用待機児童数	0人 (2025年度)	0人
②「中野区保育の質ガイドライン」を知っている保護者のうち、ガイドラインが教育・保育に役立てられていると感じる保護者の割合	92.8% (2024年度)	100%

■主な取組

- ①保育サービスの提供体制の整備 【保育園・幼稚園課】
- ②幼児教育・保育の質の向上 【保育園・幼稚園課、指導室】
- ③将来を見据えた幼稚園・保育園の運営 【保育園・幼稚園課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・こども誰でも通園制度
- ・保育の質の向上事業
- ・私立幼稚園・認証保育所等保護者補助
- ・区立幼稚園整備・運営
- ・区立保育園整備・運営

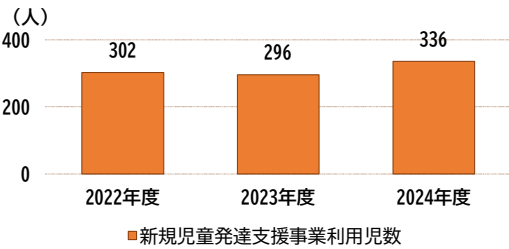
SDGsのゴールとの関係



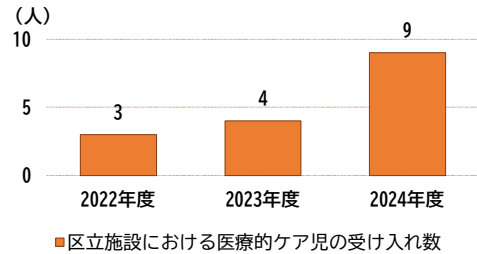
施策21 特別な配慮を必要とする子どもとその家庭への一貫した相談支援体制の充実（本冊 136～138ページ）

■現状データ

新規児童発達支援事業利用児数



区立施設における医療的ケア児の受け入れ数



■施策の方向性

- ▶特別な配慮を必要とする子どもとその家庭の置かれている状況や特性に応じて、必要な支援が受けられるよう、一貫した相談支援体制の充実を図ります。
- ▶発達の課題や障害のある子どもを育てる保護者が、子どもの特性に配慮し、子どもの育ちを支えていけるよう、様々な情報を得る機会の確保や家族支援の充実に取り組めます。
- ▶医療的ケアを必要とする子どもの受入体制の充実を図るとともに、総合的な支援を実施します。

SDGsのゴールとの関係



■成果指標

	現状値	目標値
①療育相談件数	431人 (2024年度)	600人
②区立施設における医療的ケア児の受け入れ数	9人 (2024年度)	15人

■主な取組

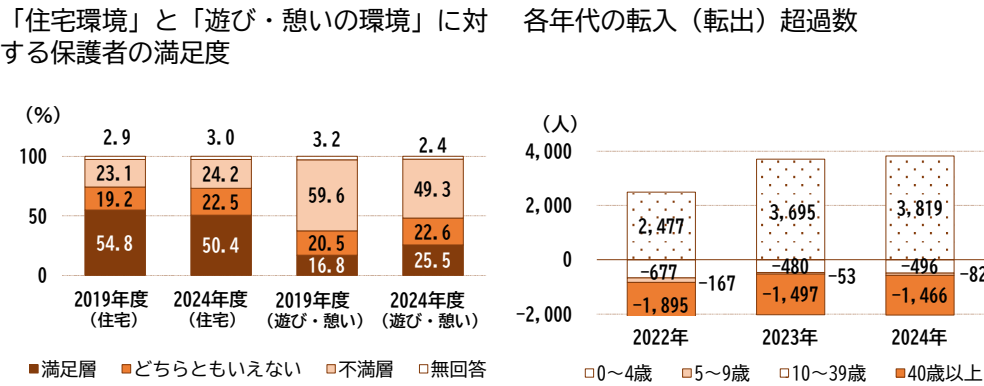
- ①一貫した地域相談支援体制の整備 【すこやか福祉センター】
- ②発達の課題等がある子どもの支援 【障害福祉課】
- ③医療的ケアを必要とする子どもへの支援 【障害福祉課、学務課、保育園・幼稚園課ほか】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・療育相談
- ・障害児通所支援事業所等基盤整備
- ・子ども発達支援普及啓発
- ・医療的ケア児支援事業
- ・重症心身障害児（者）等在宅レスパイト・就労等支援事業

施策22 子育てしやすい住環境の充実（本冊 140～142ページ）

■現状データ



■施策の方向性

▶子育て世帯の暮らしに密接な関係がある住宅や公園、店舗等の環境について向上を図ります。

■成果指標

	現状値	目標値
①中野区に住み続けたいと思う保護者の割合	69% (2024年度)	88.8%
②区内の住宅の環境に満足している子育て家庭の割合	50.4% (2024年度)	60%

■主な取組

- ①子育て世帯が暮らしやすい環境の充実
【建築課、住宅課、子ども・教育政策課ほか】
- ②子育て世帯などに向けた居住支援
【子育て支援課、住宅課】
- ③魅力ある公園づくり 【公園課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・集合住宅条例による家族世帯向け住宅の供給促進
- ・再開発事業等における子育て支援施設の誘導
- ・子育て世帯の住宅確保の促進
- ・中野区公園再整備計画による再整備
- ・トイレ環境の改善

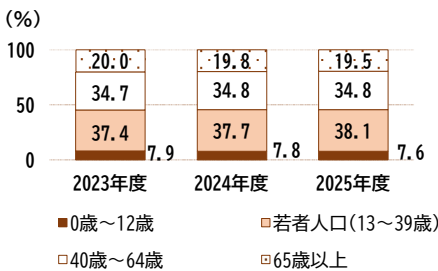
SDGsのゴールとの関係



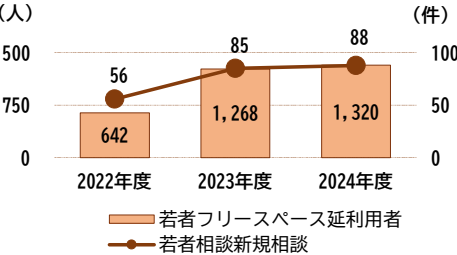
施策23 若者の社会参画支援の充実（本冊 144～146ページ）

■現状データ

若者人口（各年4月1日）



若者支援事業件数



■施策の方向性

▶若者と地域のつながりを構築することで、若者が地域で主体的に活動する機会を提供します。また、子どもから若者へ成長する過程において、継続的に地域との関わりを持つことができる環境づくりに取り組み、地域コミュニティで活動する人材の育成を目指します。また、若者の現在及び将来がその生まれ育った環境に左右されることなく、夢や希望を持つことができる地域社会を実現していくことを目指して支援します。あわせて、区内の大学や専門学校等の学生が地域で活躍できるよう支援します。

▶困難を抱える若者が、個人として尊重され、地域や他者と支え合い、段階的に自立につながるよう、関係機関・地域との連携などにより、社会参加や就労に向けた継続的な相談支援体制を構築します。

■成果指標

	現状値	目標値
①社会や地域との関わりのうち、地域活動やNPOなどの活動に参加した20歳代、30歳代の割合	16.4% (2024年度)	26%
②若者相談対応により課題の解決に至った件数（実人員）	59件 (2024年度)	75件

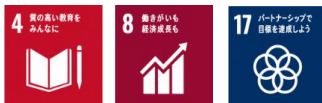
■主な取組

- ①若者のチャレンジ支援と区政・地域への反映
【子ども・教育政策課、育成活動推進課、企画課ほか】
- ②若者の自立を支援する体制の充実 【子ども・若者相談課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・若者活動支援
- ・給付型奨学金事業
- ・中高生年代向け拠点施設整備
- ・児童館の中高生機能強化
- ・中高生年代の居場所事業
- ・中高生年代の区有施設の利用促進
- ・若者実態調査
- ・若者相談
- ・若者フリースペース

SDGsのゴールとの関係



基本目標3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまち

政策1 1 人生100年時代を安心して過ごせる体制を構築する

成果指標：「高齢期も地域で安心して過ごすことができる体制が整っている」と思う区民の割合
目標値：2020年度 38.1% ➡ 2030年度 向上

政策1 2 生涯現役で生き生きと活躍できる環境をつくる

成果指標：「生涯現役で活躍できる環境が整っている」と思う区民の割合
目標値：2020年度 29.7% ➡ 2030年度 向上

政策1 3 誰一人取り残されることのない支援体制を構築する

成果指標：「誰一人取り残されることのない支援体制が整っている」と思う区民の割合
目標値：2020年度 34.0% ➡ 2030年度 向上

政策1 4 誰もが自分らしく輝ける地域社会を形成する

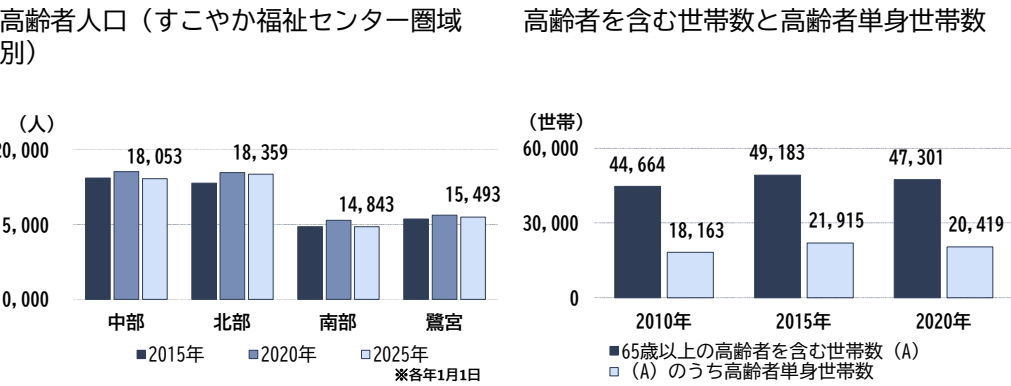
成果指標：「障害や認知症の有無などに関わらず自分らしく暮らせる環境が整っている」と思う区民の割合
目標値：2020年度 29.4% ➡ 2030年度 向上

政策1 5 生涯を通じて楽しく健康に過ごせる環境をつくる

成果指標：「運動や学びなど健康で文化的な生活を送ることができる」と思う区民の割合
目標値：2020年度 36.9% ➡ 2030年度 向上

施策24 高齢者が安心して暮らし続けることができる体制の充実（本冊 150～152ページ）

■現状データ



■施策の方向性

▶高齢者の日常生活を支え、支援を必要とする高齢者を早期に発見し、必要な支援につなげるため、ICTを活用した地域の見守り・支えあい活動を充実します。

▶今後も進展を続ける高齢社会に対応できる体制を構築していくために、関係機関等の連携を推進するとともに、身近な地域における高齢者の相談支援体制を充実します。

■成果指標

	現状値	目標値
①高齢者の緊急連絡カード作成率	17.2% (2024年度)	30%
②地域包括支援センターを身近に感じる人の割合（50 歳代以上）	22.2% (2022年度)	30%

■主な取組

- ①地域の見守り・支えあいの推進
【地域活動推進課、地域包括ケア推進課】
- ②高齢者の相談支援体制の充実
【地域活動推進課、すこやか福祉センター、地域包括ケア推進課】
- ③すこやか福祉センター等整備
【地域活動推進課、地域包括ケア推進課、すこやか福祉センター】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・産学公連携による地域活動を活用した実証実験
- ・デジタル活用による区民活動センターの情報収集・発信機能強化
- ・地域包括支援センター整備・運営
- ・すこやか福祉センター整備・運営

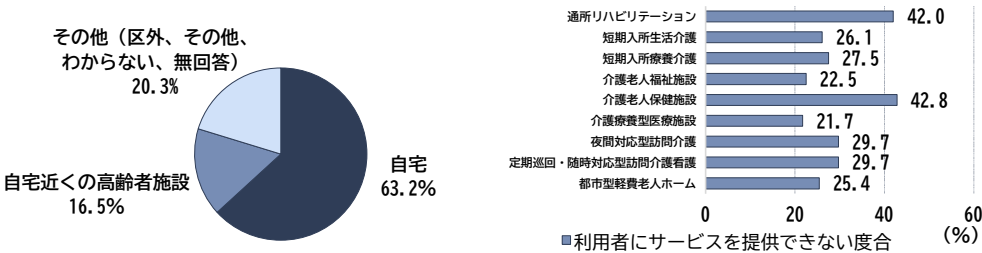
SDGsのゴールとの関係



施策25 高齢者を支える医療や介護・生活支援サービス等の提供体制の充実（本冊 153～155ページ）

■現状データ

介護が必要になった場合に介護を受けたい場所
利用者にサービスを提供できない度合いが20%以上のサービス



■施策の方向性

- ▶誰もが高齢期も住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、適切に医療や介護・生活支援サービスが提供されるよう、環境や体制を整備するとともに、住まい方の選択ができる環境整備に取り組めます。
- ▶介護保険施設について、需要に対する供給量や地域的なバランスを考慮しながら、安定的な施設運営を損なわないよう誘導・整備を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①「長期療養が必要になった場合に可能な限り自宅や実家で過ごしたい」人の割合	36.4% (2022年度)	60%
②「主治医と十分連携が取れているケアマネジャーの割合」	47.8% (2022年度)	57%

■主な取組

- ①区民それぞれが望む在宅療養生活の実現 【地域包括ケア推進課】
- ②多様な介護サービスの提供に向けた体制づくり 【地域包括ケア推進課、介護保険課】
- ③在宅から入所まで高齢者を支える基盤整備 【地域活動推進課、住宅課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・ケアラー支援体制整備

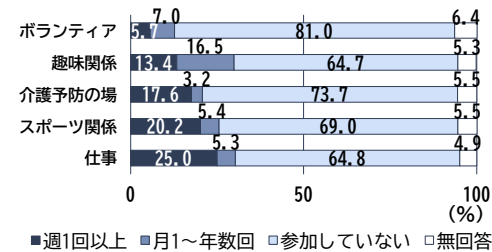
SDGsのゴールとの関係



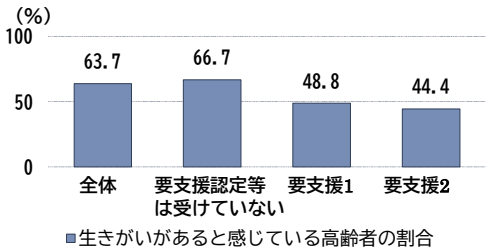
施策26 多様な交流・つながりを育み、いつまでも活躍できる環境づくり（本冊 158～160ページ）

■現状データ

地域での活動における会・グループ等への参加頻度



生きがいがあると感じている高齢者の割合



■施策の方向性

- ▶就労や地域活動等により、いくつになっても居場所を持ち、活躍できる環境の充実を図ります。
- ▶興味・関心や趣味を通じた多様な形での交流やつながりを持つことで健幸づくりを進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①収入のある仕事を月1回以上している65歳以上の区民の割合	28% (2022年度)	35%
②60歳代以上における地域活動を行っている割合	60歳代:35.1% 70歳代:27.3% 80歳以上:35.0% (2022年度)	50%

■主な取組

- ①就労を通じたいきがいくりの促進 【地域活動推進課】
- ②健幸づくり・交流機会の充実 【地域活動推進課、地域包括ケア推進課】
- ③地域活動を通じた社会参加の促進 【地域活動推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・（仮称）健幸プラザ（高齢者会館）運営

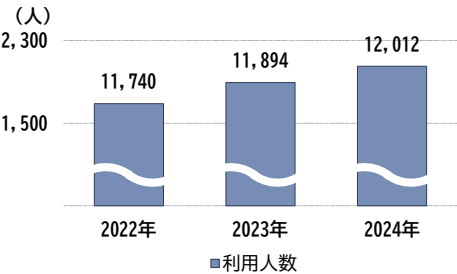
SDGsのゴールとの関係



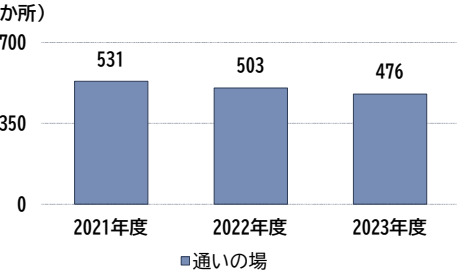
施策 2 7 区民が主体的に取り組む介護予防の推進（本冊 1 6 1 ～ 1 6 3 ページ）

■現状データ

介護サービス利用者数



通いの場合会場数



■施策の方向性

- ▶人生100年時代を見据え、介護が必要となる状態をできる限り防ぎ、高齢者が健康的な生活を維持・向上し、生き生きと暮らしていくために、身近な地域において、住民が主体となり介護予防に取り組める環境づくりを進めます。
- ▶健康に関心の低い区民に対し介護予防や健康づくりへの意識付けを進めるとともに、行動変容を促す取組を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①住民主体サービスを提供する地域団体等の数	23団体 (2024年度)	30団体
②体操や軽運動など介護予防のための通いの場への参加状況	20.8% (2022年度)	25%

■主な取組

- ①区民・団体が主体的に提供する介護予防の取組の推進【地域包括ケア推進課】
- ②介護予防に取り組む意識の啓発【地域包括ケア推進課】
- ③健康無関心層へのアプローチ【地域包括ケア推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・住民主体サービス事業
- ・健康づくりのポピュレーションアプローチ
- ・（仮称）健幸プラザ（高齢者会館）運営

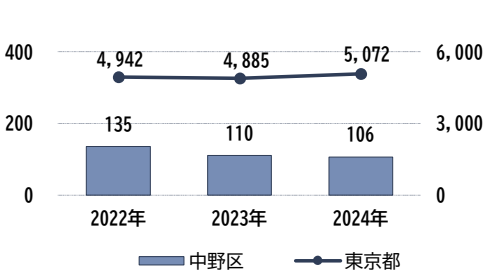
SDGsのゴールとの関係



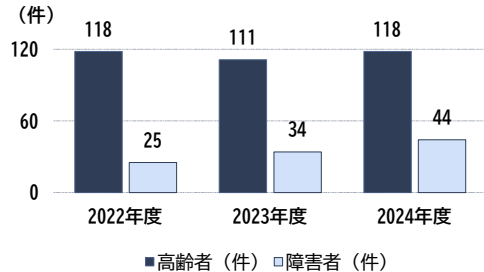
施策28 権利擁護と虐待防止の推進（本冊 166～168ページ）

■現状データ

成年後見申立件数



虐待通報・届出件数



■施策の方向性

▶判断能力が十分でない人等の意思や利益が守られるよう権利擁護を推進するとともに、関係機関等との連携を図りながら、障害者・高齢者等への虐待防止を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①「成年後見制度」という言葉や仕組みを知っている人の割合	29.4% (2022年度)	46%
②養護者による高齢者・障害者虐待の通報・届出に対応できた割合	100% (2024年度)	100%

■主な取組

- ①権利擁護の推進
【福祉推進課、障害福祉課、すこやか福祉センター】
- ②虐待防止に向けた体制の整備
【福祉推進課、障害福祉課、すこやか福祉センターほか】

■主な事業（新規・拡充等）

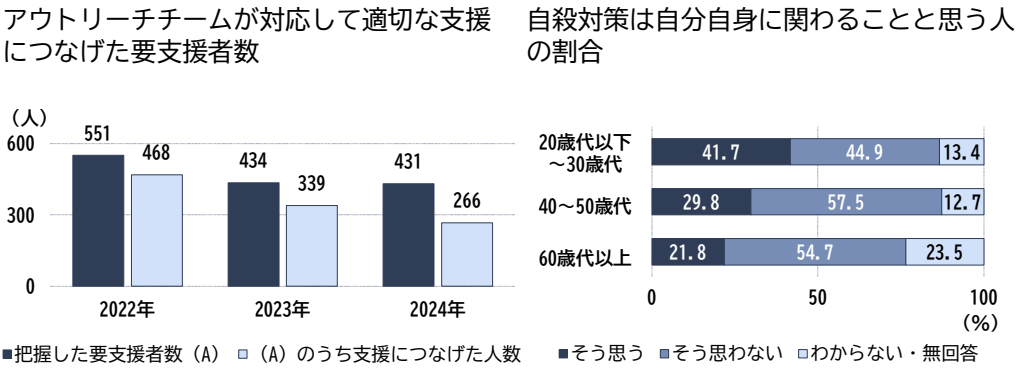
- ・成年後見制度推進事業
- ・権利擁護推進事業

SDGsのゴールとの関係



施策29 多様な課題を抱えている人やその家族の早期発見・早期対応の推進（本冊 169～172ページ）

■現状データ



■施策の方向性

- ▶支援を必要とする全ての人を相談支援につなげるとともに、孤独・孤立に悩む人がつながりを実感できる地域づくりを進めます。
- ▶誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けて、関係機関との連携を図るとともに、多様な主体との協働によりすべての人に生きることを支える支援を進めます。
- ▶犯罪被害に遭ってもできるだけ早く穏やかな生活が送れるよう、区民の理解を深めるとともに、関係機関と連携し、途切れることのない支援を進めます。
- ▶犯罪や非行をした人の立ち直りを支えると同時に、犯罪や非行を未然に防ぐため、関係団体・関係機関がさらに連携し、生きづらさを抱え地域で孤立している人や孤立しがちな人等への支援体制の構築を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①アウトリーチチームが対応して適切に支援につなげた割合	61.7% (2024年度)	82%
②自殺死亡率（10万人対）	17.6人 (2020年から2024年の5年平均)	13.3人

■主な取組

- ①孤独・孤立対策の推進
【地域包括ケア推進課、すこやか福祉センター、地域活動推進課】
- ②重層的支援体制整備事業の推進
【地域包括ケア推進課、すこやか福祉センター、地域活動推進課】
- ③自殺を未然に防ぐ体制の整備 【保健予防課】
- ④犯罪被害者等の支援の推進 【福祉推進課】
- ⑤再犯防止推進 【地域活動推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの運営
- ・コミュニティソーシャルワーク
- ・第3期中野区自殺対策計画
- ・ケアラー支援体制整備
- ・再犯防止推進事業

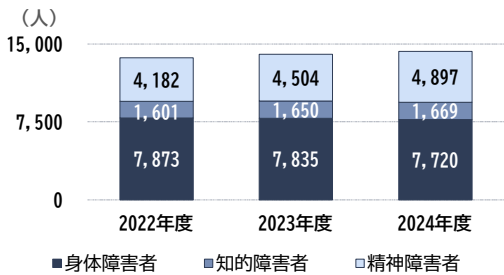
SDGsのゴールとの関係



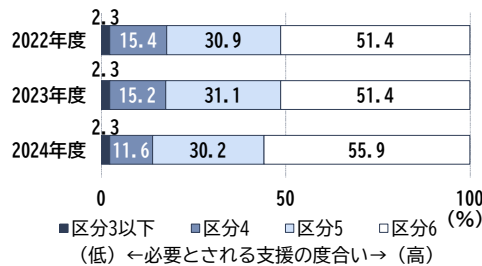
施策30 障害者への相談支援体制と地域生活移行を支える環境の整備（本冊 173～176ページ）

■現状データ

障害者手帳所持者数



施設入所者の障害支援区分



■施策の方向性

- ▶障害者及び介護者の高齢化、障害の多様化・重度化などの個々の置かれている状況や特性に応じて、切れ目なく必要な支援やサービスにつなぐことができるよう相談支援体制の充実を図ります。
- ▶重度障害者をはじめ障害者が地域で安心して暮らせるよう、関係機関との連携や人材の確保及び育成を進めるとともに、障害者の地域生活への移行を支える基盤の整備を着実に進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①障害福祉サービスを利用していない理由のうち、「サービス知らない」「利用方法がわからない」の割合	30.8% (2022年度)	10%
②入所施設から地域移行した障害のある人の数(2015年度からの累計数)	18人 (2024年度)	36人

■主な取組

- ①地域生活を支える相談支援の充実・強化
【すこやか福祉センター、障害福祉課】
- ②福祉人材の確保・育成 【障害福祉課】
- ③地域生活への移行に係る支援体制整備の拡充
【すこやか福祉センター、障害福祉課】
- ④障害福祉サービス基盤の充実 【障害福祉課】
- ⑤難病患者等への支援体制の整備
【すこやか福祉センター、地域包括ケア推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・ 障害者相談支援事業
- ・ 事業所・関係機関との福祉人材連携事業
- ・ 障害福祉人材育成研修
- ・ 地域移行・地域定着支援事業
- ・ 障害者の夕方支援
- ・ 障害者施設基盤整備・誘導
- ・ 障害者福祉会館の再整備
- ・ 障害福祉サービスのDX化

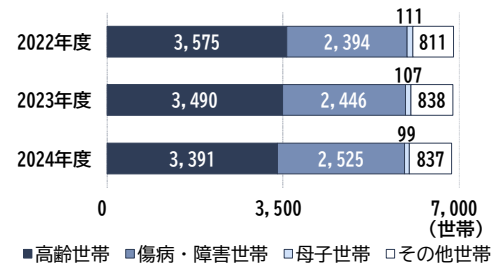
SDGsのゴールとの関係



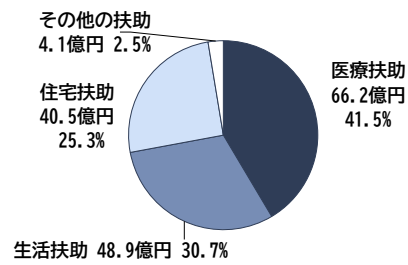
施策31 生活に困窮している人の自立に向けた支援の充実（本冊 177～179ページ）

■現状データ

世帯類型別被保護世帯数



生活保護費の内訳（2024年度）



■施策の方向性

▶生活に困窮する区民の経済的・社会的な自立に向け、個々の状況に応じた相談支援をはじめ、就労支援や日常生活支援等による支援体制の充実を図ります。

■成果指標

	現状値	目標値
①生活保護から自立した世帯数	245世帯 (2024年度)	245世帯
②生活困窮者を対象とした就労支援を受け就労した割合	61.8% (2024年度)	75%

■主な取組

- ①生活困窮者に対する包括的な自立支援の推進 【生活援護課】
- ②適正な生活保護制度の運営による被保護者の自立促進 【生活援護課】
- ③被保護者への就労支援と就労した職場での定着支援 【生活援護課】

■主な事業（新規・拡充等）

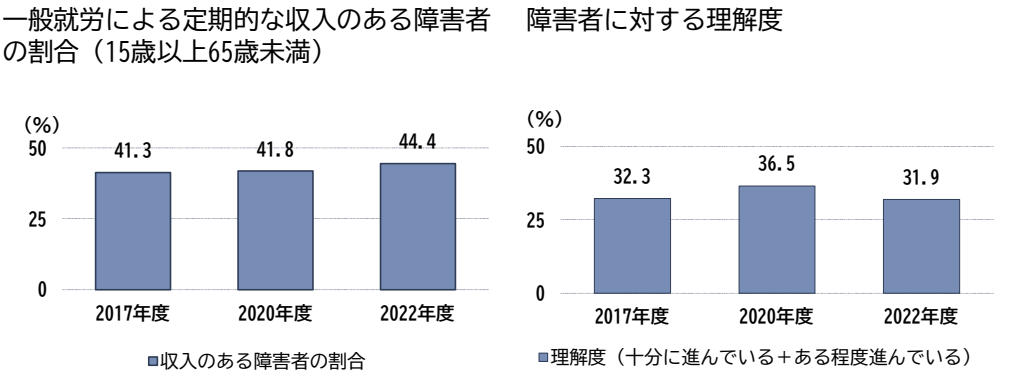
- ・エアコン購入費助成事業

SDGsのゴールとの関係



施策32 障害者の就労や社会参画の推進（本冊 182～184ページ）

■現状データ



■施策の方向性

▶障害者の自立した生活を支えるため、職場における障害の理解を進めながら、障害者の就労促進と就労を継続するための支援を行うとともに、障害者就労継続支援事業所における安定的な仕事の確保と作業力向上に向けた支援を進めます。

▶障害の有無に関わらず、互いを尊重し、共生できる社会の実現に向けて、障害を理由とする差別の解消と区民や事業者等の理解の促進を図るとともに、情報アクセシビリティの向上を図ります。

■成果指標

	現状値	目標値
①一般就労による定期的な収入のある障害者の割合（15歳以上65歳未満）	44.4% (2022年度)	47%
②障害者に対する理解が「ある程度進んでいる」、「十分に進んでいる」と回答した人の割合	31.9% (2022年度)	42.5%

■主な取組

- ①関係機関と連携した一般就労への支援と定着 【障害福祉課】
- ②就労機会の拡大、体験・訓練の場の創出 【障害福祉課】
- ③障害者就労施設等における受注機会・販路の拡大 【障害福祉課】
- ④障害に対する理解促進と社会参画支援の充実 【障害福祉課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・障害者差別解消推進事業
- ・意思疎通支援等社会参画促進事業

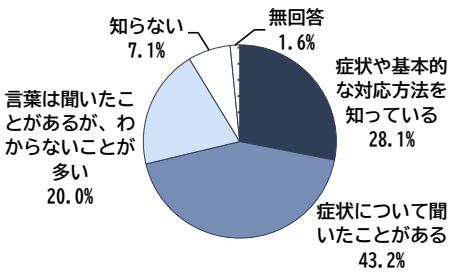
SDGsのゴールとの関係



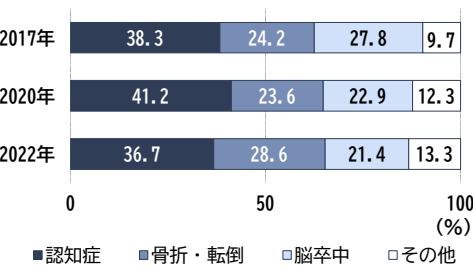
施策33 認知症のある人とその家族を支える環境づくり（本冊 185～187ページ）

■現状データ

認知症について理解している区民の割合



介護が必要となった原因



■施策の方向性

▶認知症の有無に関わらず、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の理解促進と地域での対応力の向上を図るとともに、認知症のある人やその家族の意思を踏まえて、早期の気づき、早期対応及び居場所づくりの取組を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①オレンジカフェ等認知症のある人やその家族が集える場所の設置数	20箇所 (2024年度)	25箇所
②認知症の症状や基本的な対応方法を知っている人の割合	28.1% (2022年度)	45%

■主な取組

- ①認知症バリアフリーに向けた意識の啓発 【地域包括ケア推進課】
- ②認知症のある人を支える地域の相談支援体制等の整備 【地域包括ケア推進課】
- ③認知症のある人やその家族・支援者の居場所づくり 【地域包括ケア推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・ 認知症相談支援事業
- ・ 認知症地域支援推進事業

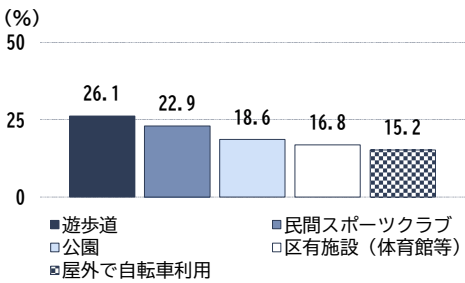
SDGsのゴールとの関係



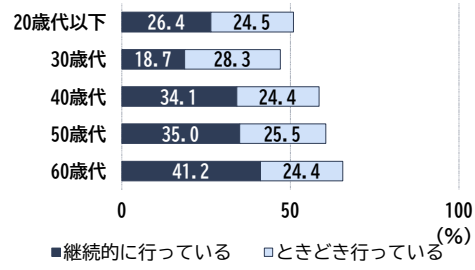
施策34 誰もが身近に運動・スポーツ活動に取り組める環境づくり（本冊 190～193ページ）

■現状データ

運動・スポーツを行う場所



1回30分以上の運動を週1～2回以上行っている区民の割合



■施策の方向性

- ▶区民が身近な場所で運動・スポーツ活動を行うことができる機会・環境を整えるとともに、運動・スポーツを通じた区民同士の交流や地域コミュニティの形成を進めます。
- ▶様々なスポーツに関する団体・事業者と協働・連携しながら、区民・スポーツ関係者の自発的な運動・スポーツ活動を推進するとともに、健康づくりや障害者スポーツの普及を進めます。
- ▶子どもの運動習慣の定着や、健康の維持、体力の向上等に向けた取組を進め、運動習慣の形成を図ります。

SDGsのゴールとの関係



■成果指標

	現状値	目標値
①1回30分以上の運動を週1～2回以上行っている区民の割合	57.1% (2022年度)	63%
②障害者の外出の主な目的における趣味・スポーツの割合	28.7% (2022年度)	36.7%

■主な取組

- ①誰もが運動・スポーツに取り組む環境づくり 【スポーツ振興課】
- ②スポーツを通じたコミュニティの形成、障害者スポーツの推進 【スポーツ振興課】
- ③子どもの運動習慣の定着に向けた取組の促進 【スポーツ振興課】
- ④様々なスポーツ団体等との協働・連携・支援 【スポーツ振興課】

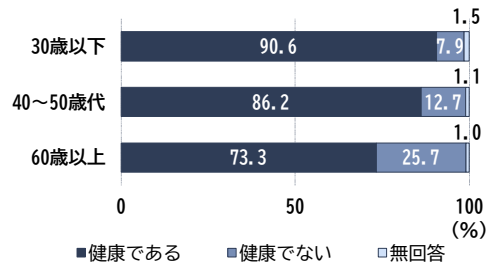
■主な事業（新規・拡充等）

- ・スポーツ施設運営
- ・地域・団体連携事業
- ・地域スポーツクラブ事業
- ・障害者スポーツ事業
- ・部活動の地域展開

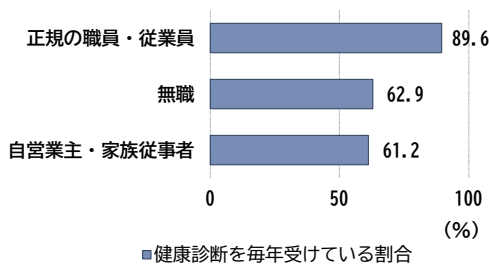
施策35 健康的な生活習慣が身につく環境づくり（本冊 194～197ページ）

■現状データ

現在の健康状態に対する実感



健康診断を毎年受診している人の割合



■施策の方向性

- ▶栄養・運動・休養の調和がとれた健康的な生活習慣の定着に向けて、区民一人ひとりの自律的かつ継続的な健康づくりを進めます。
- ▶疾病の予防や早期発見・早期治療を促進するため、各種データの収集・分析等に基づく健康づくりを進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①自身の健康状態が「よい」と思う区民の割合	81.9% (2022年度)	90%
②食べ物や食生活に関して栄養バランスや規則正しい食生活を心がけている人の割合	55.1% (2022年度)	60%

■主な取組

- ①健康的な生活習慣の定着促進
【保健企画課、保健予防課、すこやか福祉センターほか】
- ②データ分析や健診等による健康づくりの支援 【保健企画課】
- ③食育の推進 【すこやか福祉センター、保健企画課】
- ④高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 【地域包括ケア推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・ 地域健康学習支援
- ・ 受動喫煙防止対策事業
- ・ 禁煙治療費助成
- ・ 健康づくり普及啓発
- ・ 健康づくりのポピュレーションアプローチ
- ・ がん等健診の実施及び受診勧奨事業の実施
- ・ データヘルス事業
- ・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

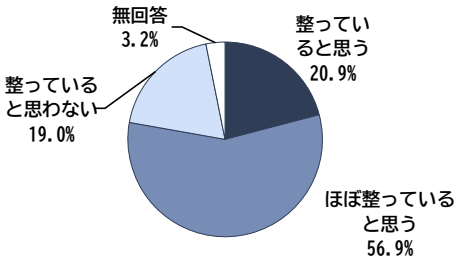
SDGsのゴールとの関係



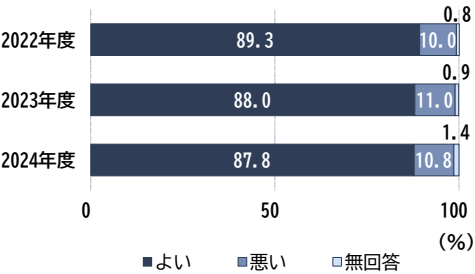
施策36 地域医療体制の充実（本冊 198～200ページ）

■現状データ

病状に応じた適切な医療が受けられる環境が整っていると思う人の割合



病院や医療機関の便がよいと思っている人の割合



■施策の方向性

- ▶区民の誰もが、身近な地域で安心して必要な医療を受けられる体制づくりを進めるとともに、健康危機への備えを強化します。
- ▶区民の健康維持・増進を図るため、事業者等への指導を行うとともに、区民が適切に医薬品を使用できるよう普及啓発を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①地域の救急医療体制が整っていると思う人の割合	77.8% (2022年度)	85.8%
②病院や医療機関の便がよいと思っている人の割合	87.8% (2024年度)	90%

■主な取組

- ①地域での医療提供の充実 【保健企画課】
- ②保健所機能の強化 【保健企画課、保健予防課、生活衛生課】
- ③薬局等における安全管理体制の充実 【生活衛生課】

■主な事業（新規・拡充等）

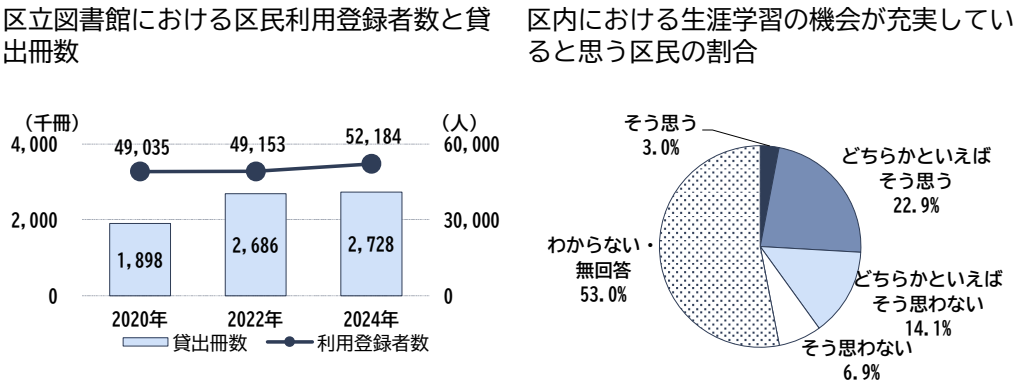
- ・保健所機能強化

SDGsのゴールとの関係



施策37 生涯にわたり学び続けることができる環境づくり（本冊 201～203ページ）

■現状データ



■施策の方向性

- ▶区民のライフスタイルに応じ、生涯を通じて主体的に学び続けることができる環境づくりを進めます。
- ▶区民が図書館を学びや課題解決に活用できるよう、利便性の向上や環境の充実を図るとともに、乳幼児親子や子どもの読書活動を促進します。

■成果指標

	現状値	目標値
①区立図書館利用登録者数	52,184人 (2024年度)	65,000人
②区内における生涯学習の機会が充実していると思う区民の割合	25.9% (2024年度)	35%

■主な取組

- ①学びの機会の充実
【文化振興・多文化共生推進課、地域活動推進課】
- ②子どもの読書環境の充実 【子ども・教育政策課】
- ③図書サービスの利便性の向上 【子ども・教育政策課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・子ども向け体験学習事業
- ・生涯学習普及啓発
- ・児童・子ども読書活動推進事業
- ・区立図書館整備・運営
- ・（仮称）図書館サービス評価会

SDGsのゴールとの関係



基本目標4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまち

政策16 災害に強く回復力のあるまちづくりを進める

成果指標：「災害に強いまちづくりが進んでいる」と思う区民の割合
目標値：2020年度 42.1% ➡ 2030年度 向上

政策17 時代の変化に対応したまちづくりを進める

成果指標：「西武新宿線の連続立体交差事業を契機とした沿線各駅のまちづくりや地区の特性に応じたまちづくりにより、安全性・快適性・利便性が向上している」と思う区民の割合
目標値：2020年度 41.6% ➡ 2030年度 向上

政策18 快適で魅力ある住環境をつくる

成果指標：「快適で魅力ある住環境の形成が進んでいる」と思う区民の割合
目標値：2020年度 45.4% ➡ 2030年度 向上

政策19 環境負荷の少ない持続可能なまちをつくる

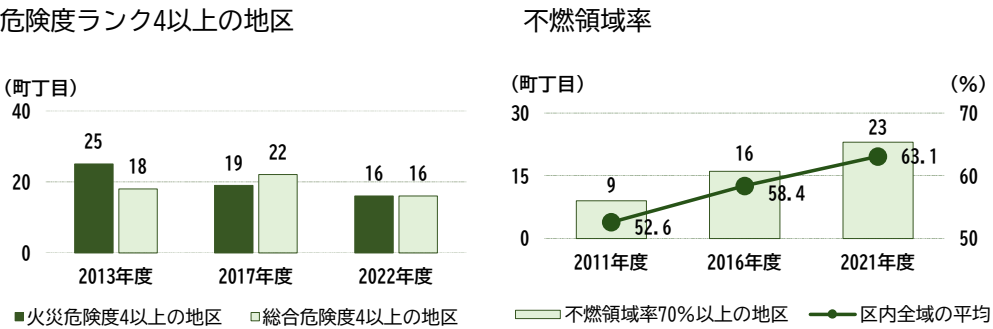
成果指標：「環境負荷の少ないライフスタイルなどが、区民の生活や企業活動に浸透している」と思う区民の割合
目標値：2020年度 28.9% ➡ 2030年度 向上

政策20 安全・安心な生活環境と防犯まちづくりを進める

成果指標：「安全・安心な生活環境と防犯まちづくりが進んでいる」と思う区民の割合
目標値：2020年度 45.3% ➡ 2030年度 向上

施策38 防災まちづくりの推進（本冊 208～211ページ）

■現状データ



■施策の方向性

- ▶「防災都市づくり推進計画（東京都）」における整備地域や「地震に関する地域危険度測定調査（東京都）」において危険度が高い地域について、国や都と連携して、延焼遮断帯の形成や避難道路の整備、不燃化建替えを進め、防災まちづくりを進めます。
- ▶区内の耐震性が不十分な建築物に対して、耐震性の確保を図ります。

■成果指標

	現状値	目標値
①不燃領域率（防災まちづくり事業対象地区）	64.4% (2024年度)	70%
②住宅の耐震化率	92.8% (2024年度)	100%

■主な取組

- ①重点整備地域における防災まちづくり 【まちづくり事業課】
- ②防災環境向上地区における防災まちづくり 【まちづくり計画課、まちづくり事業課】
- ③木密事業による防災まちづくり 【まちづくり事業課】
- ④耐震化の推進 【建築課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・大和町地区における防災まちづくり
- ・若宮地区における防災まちづくり
- ・上高田一、二及び三丁目周辺地区における防災まちづくり
- ・弥生町三丁目周辺地区における防災まちづくり
- ・南台一・二丁目地区、南台四丁目地区、平和の森公園周辺地区における防災まちづくり

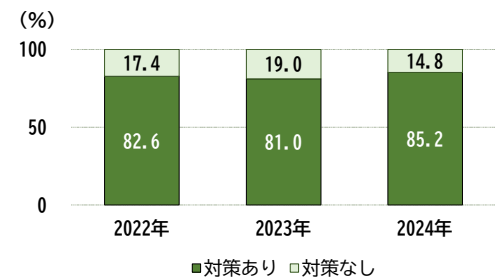
SDGsのゴールとの関係



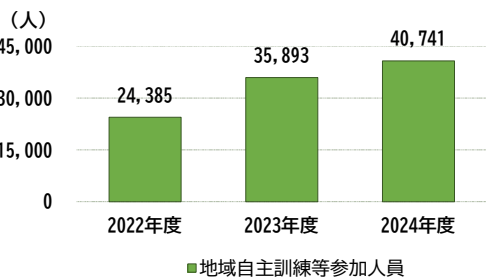
施策39 災害に強い体制づくり（本冊 212～215ページ）

■現状データ

地震災害への家庭での対策の有無



地域自主訓練等参加人員



■施策の方向性

▶地震や台風、局地的集中豪雨など大規模自然災害の発生時における人命の保護を最大限に図るとともに、迅速な復旧・復興に向けた体制づくりを進めます。
▶防災活動の担い手の育成や日常的な地域のつながりの形成、自助・共助による防災の取組を進めます。

SDGsのゴールとの関係



■成果指標

	現状値	目標値
①地域自主訓練等参加人員	40,741人 (2024年度)	43,000人
②飲料水・食料を備蓄している区民の割合	飲料水67.7% 食料62.8% (2024年度)	飲料水75% 食料70%

■主な取組

- ①避難環境の整備と復旧・復興に向けた取組の推進
【防災危機管理課】
- ②情報伝達手段の充実と帰宅困難者対策 【防災危機管理課】
- ③地域の防災力向上 【防災危機管理課】
- ④避難行動要支援者への避難支援
【地域活動推進課、防災危機管理課】
- ⑤水害対策の推進 【防災危機管理課、道路管理課】
- ⑥災害廃棄物処理の体制整備・普及啓発 【ごみゼロ推進課】

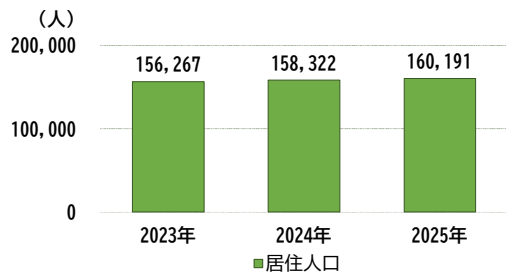
■主な事業（新規・拡充等）

- ・避難所運営
- ・帰宅困難者対策
- ・備蓄物資・防災資機材等配備
- ・集合住宅（アパート・マンション等）防災

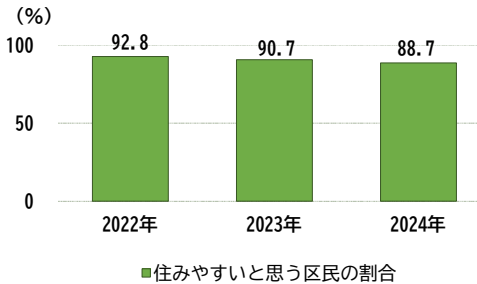
施策40 西武新宿線連続立体交差事業を契機としたまちづくりの推進（本冊 218～221ページ）

■現状データ

西武新宿線5駅の周辺の居住人口
（各年1月1日）



西武新宿線5駅周辺の居住者のうち、中野区を住みやすいと思う区民の割合



■施策の方向性

- ▶西武新宿線連続立体交差化や交通基盤整備の着実な推進による、交通渋滞の解消、駅前の交通結節機能の強化、安心して買い物ができる空間の確保、にぎわいの創出等を図ります。また、まちの安全性・快適性・利便性を高めることにより、鉄道沿線のまちづくりを進めます。
- ▶西武新宿線連続立体交差化により創出される空間の活用による、地域の要望や社会ニーズに寄与するまちづくりの取組を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①西武新宿線5駅周辺の居住人口	160,191人 (2024年度)	167,000人
②西武新宿線5駅周辺の居住者のうち、中野区を住みやすいと思う区民の割合	88.7% (2024年度)	93%

■主な取組

- ①新井薬師前・沼袋駅周辺のまちづくり 【まちづくり事業課】
- ②新井薬師前・沼袋駅周辺の基盤整備 【まちづくり事業課】
- ③野方以西各駅周辺地区のまちづくり 【まちづくり計画課】
- ④野方以西各駅周辺の基盤施設の整備 【まちづくり計画課、まちづくり事業課】
- ⑤新たな創出空間の活用 【まちづくり計画課、まちづくり事業課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・新井薬師前駅前地区再整備
- ・沼袋駅前地区再整備
- ・事業用地活用によるにぎわい創出
- ・補助第220号線（新井薬師前駅東側の南北道路）整備
- ・区画街路第3号線（新井薬師前駅南側の交通広場）整備
- ・区画街路第4号線（沼袋駅のバス通り）整備
- ・野方駅周辺地区まちづくり
- ・都立家政駅周辺地区まちづくり
- ・鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり
- ・野方以西各駅周辺基盤施設の整備
- ・都市計画道路整備事業（補助第227号線等）
- ・西武新宿線沿線における公共的空間の整備
- ・鉄道上部空間の活用

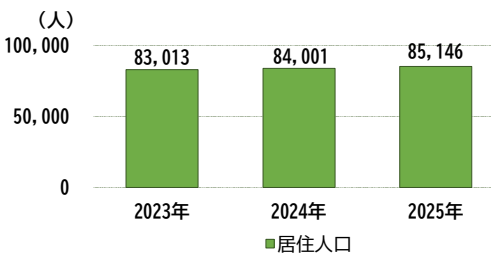
SDGsのゴールとの関係



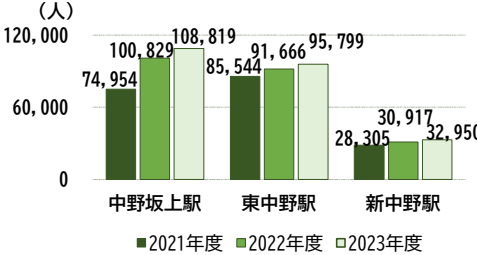
施策41 各地区の特性に応じたまちづくりの推進（本冊 222～223ページ）

■現状データ

中野坂上駅、東中野駅、新中野駅周辺の居住人口（各年1月1日）



中野坂上駅、東中野駅、新中野駅の1日乗降客数



■施策の方向性

▶区民、事業者、行政などの関係者の協働によるまちづくりの推進により、にぎわいの創出、交通利便性や地域環境の向上等を図ります。

■成果指標

	現状値	目標値
①中野坂上駅、東中野駅、新中野駅周辺の居住人口	85,146人 (2024年度)	87,000人
②中野坂上駅、東中野駅、新中野駅周辺の居住者のうち、次世代も中野区に住んでもらいたいと思う区民の割合	65.1% (2024年度)	68%

■主な取組

- ①交流拠点のまちづくり 【まちづくり計画課】
- ②区民による主体的なまちづくり 【まちづくり計画課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・東中野駅東口周辺地区のまちづくり

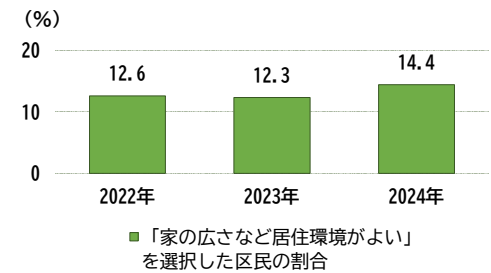
SDGsのゴールとの関係



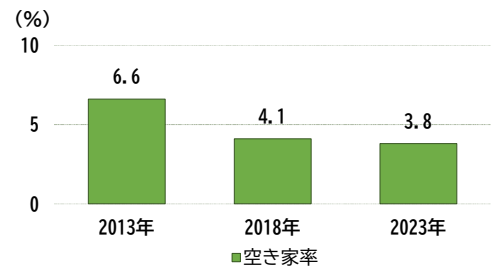
施策42 住生活の安定の確保と向上の促進（本冊 226～228ページ）

■現状データ

定住意向理由として「家の広さなど居住環境がよい」を選択した区民の割合



空き家率（戸建て）



■施策の方向性

- ▶住宅確保要配慮者の円滑な入居を促進するとともに、区営住宅の適正な維持管理に努め、居住の安定を確保します。
- ▶住宅ストックの質の向上に向けて、区民の意識啓発を図るとともに、マンションの適正な維持管理及び円滑な建替えに向けた取組を推進します。
- ▶空き家の適正管理を促進するとともに、民間団体等と連携し、不動産市場での利活用への誘導も行い、空き家状態の解消を進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①定住意向理由として「家の広さなど居住環境がよい」を選択した区民の割合	14.4% (2024年度)	15%
②空き家率(戸建て)	3.8% (2023年度)	3%

■主な取組

- ①居住支援体制の推進 【住宅課】
- ②住宅ストックの質の向上 【建築課、住宅課】
- ③区営住宅及び福祉住宅の維持管理 【住宅課】
- ④空き家の発生抑制と適正管理 【住宅課】

■主な事業（新規・拡充等）

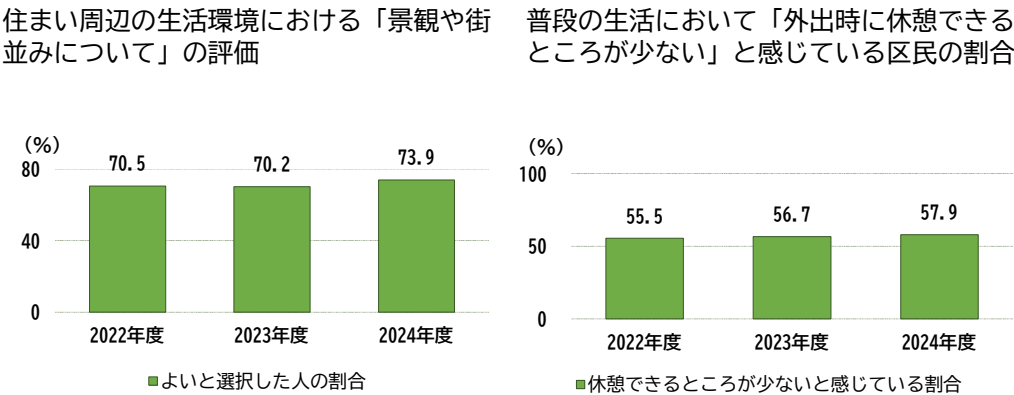
- ・ 公営住宅等運営
- ・ 空き家対策推進事業

SDGsのゴールとの関係



施策43 歩きたくなるまちづくりの推進（本冊 229～231ページ）

■現状データ



■施策の方向性

▶バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方に基づいた誰もが利用しやすい道路・交通環境や公共施設の整備等を進めます。

▶居心地が良く、歩いて楽しくなるウォーカブルなまちづくりを推進するため、地域特性に応じた適切な景観誘導とともに、土地の有効活用や高度利用を促進すること等により、ゆとりある魅力的な都市空間の実現を図っていきます。

SDGsのゴールとの関係



■成果指標

	現状値	目標値
①住まい周辺の生活環境について、「景観や街並みについて」を「よい評価」とした区民の割合	73.9% (2024年度)	75.4%
②外出時に休憩できる場所が少ないと感じている割合	57.9% (2024年度)	45.1%

■主な取組

- ①バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり
【都市計画課、企画課】
- ②地域特性を生かした土地利用の推進
【都市計画課、まちづくり計画課ほか】
- ③魅力的な街並みを形成する景観づくりの推進 【都市計画課ほか】

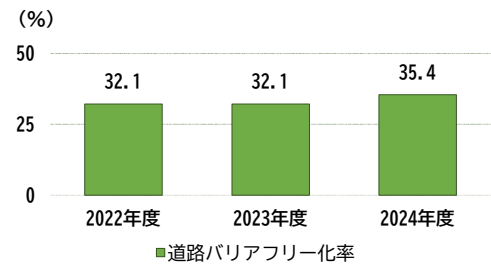
■主な事業（新規・拡充等）

- ・ 公共施設等バリアフリー化推進事業
- ・ 景観まちづくりの推進
- ・ 公民連携による休憩スペースの確保

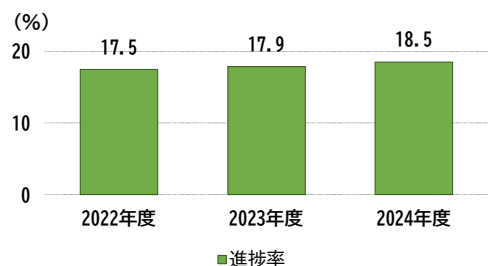
施策44 道路・橋梁の着実な整備・改修（本冊 232～234ページ）

■現状データ

道路バリアフリー化率



無電柱化優先整備路線の進捗率



■施策の方向性

- ▶道路のバリアフリー化や無電柱化の推進等、快適な道路空間の整備を進めます。
- ▶道路・橋梁の予防保全を基本とした維持管理を着実に進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①道路バリアフリー化率	35.4% (2024年度)	43.1%
②無電柱化優先整備路線の進捗率	18.5% (2024年度)	31%

■主な取組

- ①道路のバリアフリー化の促進 【道路建設課】
- ②無電柱化の促進 【道路建設課】
- ③予防保全型維持管理の推進 【道路建設課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・バリアフリー化改良工事
- ・無電柱化推進事業
- ・橋梁長寿命化修繕事業

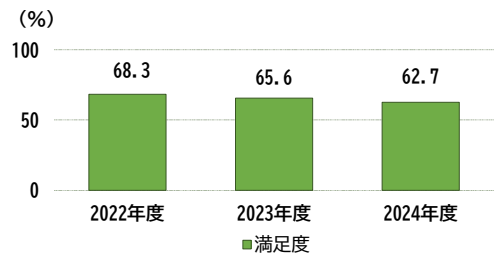
SDGsのゴールとの関係



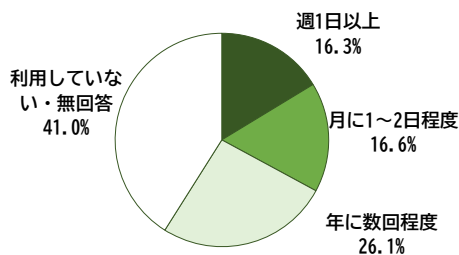
施策45 多様なニーズに応じたみどりのある魅力的な公園づくり（本冊 235～237ページ）

■現状データ

区内の公園や広場についての満足度



区内の公園や広場の利用頻度



■施策の方向性

▶誰もが、憩い、遊び、にぎわう魅力ある公園づくりを進めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①公園や広場の利用者満足度	62.7% (2024年度)	70%
②公園や広場の利用率	32.9% (2024年度)	36%

■主な取組

- ①公園施設の適切な整備・改修 【公園課】
- ②安全・安心で快適に利用できる環境づくり 【公園課】
- ③公園運営及び利活用の促進 【公園課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・新たな公園の整備
- ・中野区公園再整備計画による再整備
- ・哲学堂公園再整備
- ・トイレ環境の改善
- ・防犯カメラの設置
- ・園内灯のLED化
- ・民間活力の活用

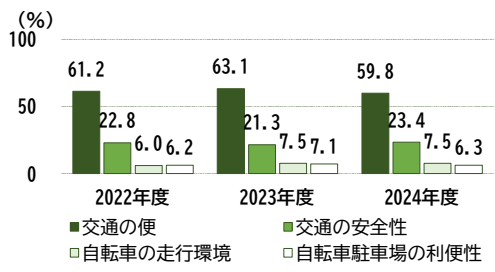
SDGsのゴールとの関係



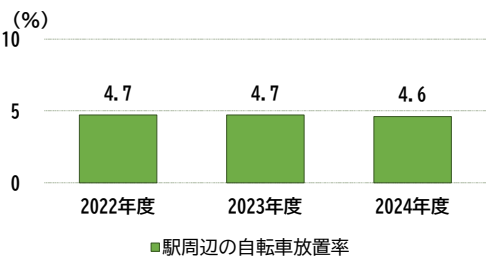
施策46 誰もが利用しやすく、円滑に移動できる交通環境の整備（本冊 238～240ページ）

■現状データ

交通に関する生活環境についての満足度



駅周辺の自転車放置率



■施策の方向性

- ▶区民、企業、交通事業者、行政が相互に協力し、地域特性に応じた地域公共交通ネットワークを形成し、持続可能な地域交通環境の向上を目指します。
- ▶身近で環境にやさしい交通手段である自転車の活用を推進するため、誰もが安全・安心に利用しやすい自転車利用環境を整備します。

■成果指標

	現状値	目標値
①区内移動の快適性に関する満足度	59.8% (2024年度)	68.8%
②駅周辺の自転車放置率	4.6% (2024年度)	4%

■主な取組

- ①公共交通利用を促す意識啓発 【交通政策課】
- ②区民の快適な移動と回遊の確保 【交通政策課】
- ③公共交通を補完する自転車利活用の推進
【交通政策課、道路建設課ほか】
- ④自転車利用の環境整備と適正化
【交通政策課、中野駅周辺まちづくり課ほか】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・新技術を活用した移動の活性化
- ・新たなモビリティの導入
- ・自転車駐車場整備
- ・自転車駐車場運営・環境改善

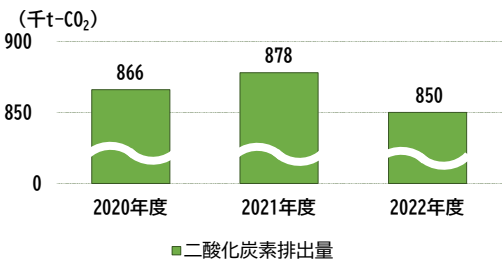
SDGsのゴールとの関係



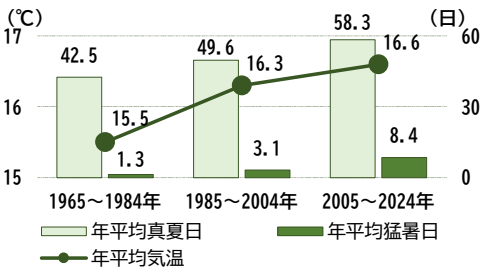
施策47 脱炭素社会の推進と気候変動への適応（本冊 242～244ページ）

■現状データ

中野区内の二酸化炭素排出量



東京都の気候変化



■施策の方向性

▶今後の区内のまちづくりに関わるあらゆる取組を通じて、環境配慮・脱炭素化の視点を加え、「エネルギーの効率的利用の推進」、「みどりを活かしたゆとりある環境の形成」、「環境負荷の少ない交通環境の形成」の取組について検討し、合意形成を図りながら、実行していきます。

▶区民・事業者に対して地球温暖化対策及び気候変動への適応に関する意識を浸透させ、地球環境に配慮した行動変容を促すとともに、区民や事業者・団体等の環境に配慮した活動等を広く周知することで、中野区全体で脱炭素社会の実現に向けた取組を推進していきます。

■成果指標

	現状値	目標値
①区内の二酸化炭素排出量	850千t-CO2 (2022年度)	570千t-CO2
②環境に配慮した取組を行っている区民の割合	90.7% (2024年度)	98%

■主な取組

- ①エネルギーの効率的利用の推進 【環境課、建築課ほか】
- ②みどりを活かしたゆとりある環境の形成 【環境課、道路建設課、公園課ほか】
- ③環境負荷の少ない交通環境の形成 【交通政策課、道路建設課ほか】
- ④区民等の環境配慮行動の促進 【環境課、保健予防課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・建物の省エネルギー化・再生可能エネルギー転換促進
- ・環境普及啓発
- ・再生可能エネルギー設備等導入支援

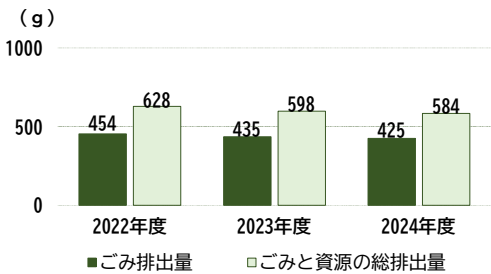
SDGsのゴールとの関係



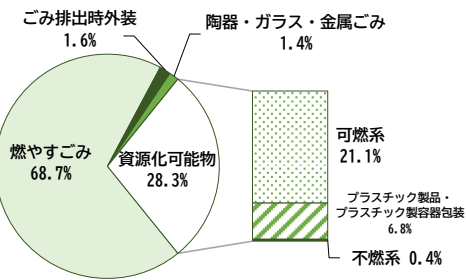
施策48 ごみの減量やリサイクルの推進（本冊 245～247ページ）

■現状データ

区民1人1日あたりのごみ排出量・ごみと資源の総排出量



燃やすごみの中の資源化可能物・対象外品目の混入率



■施策の方向性

▶「環境負荷の少ない持続可能なごみゼロ都市」を目指し、区民や事業者に対して3R（発生抑制〔リデュース〕、再使用〔リユース〕、再生利用〔リサイクル〕）の意識を浸透させ、行動変容を促すとともに、環境負荷を低減した安全で着実なごみの収集・運搬と効率的な資源化を推進します。

■成果指標

	現状値	目標値
①区民1人1日あたりのごみ排出量	425 g (2024年度)	400 g
②燃やすごみの中の資源化可能物の混入率	28.3% (2024年度)	22.3%

■主な取組

- ①ごみ減量・3R普及啓発 【ごみゼロ推進課】
- ②適正なごみの収集・運搬と資源回収 【ごみゼロ推進課】
- ③食品ロス削減の推進 【ごみゼロ推進課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・資源・ごみの分別・排出ルール等の普及啓発
- ・びん・缶・ペットボトル等の回収・資源化事業
- ・区内事業者・大学等と連携した食品ロス削減事業

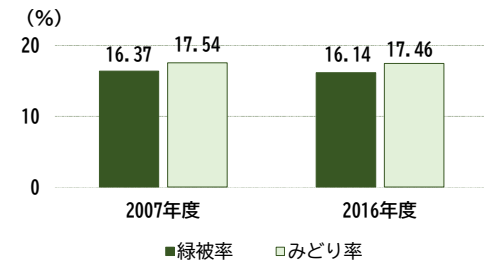
SDGsのゴールとの関係



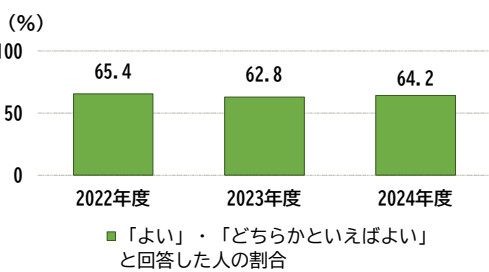
施策 49 みどりの保全と創出の推進 (本冊 248～250ページ)

■現状データ

緑被率・みどり率



住まい周辺の生活環境における「みどりの豊かさ」の評価



■施策の方向性

- ▶区が率先して区有地のみどりの保全や創出に努めるとともに、区民、事業者とも協働して取組を推進します。
- ▶都市開発諸制度の活用やまちづくり事業との連携により、質の高い緑化誘導に取り組み、みどりのネットワークの構築を推進します。
- ▶生物多様性に係る意義の普及啓発や、保全に向けた取組を推進します。

■成果指標

	現状値	目標値
①みどりの豊かさに対する区民の満足度	64.2% (2024年度)	65%
②緑被率・みどり率	緑被率16.14% みどり率17.46% (2019年度)	緑被率16.14% みどり率18.32%

■主な取組

- ①緑化推進に向けた普及啓発 【環境課】
- ②みどりのネットワークの構築 【環境課、公園課ほか】
- ③質の高いみどりの確保・創出 【環境課】
- ④生物多様性保全の推進 【環境課、子ども教育施設課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・街路樹の管理
- ・生物多様性に係る普及啓発事業

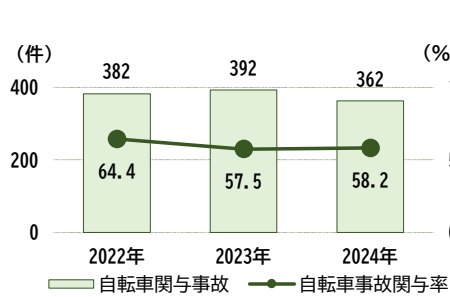
SDGsのゴールとの関係



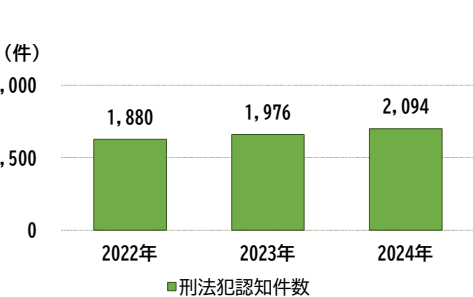
施策50 犯罪や事件・事故の防止と消費生活の安全の推進（本冊 252～254ページ）

■現状データ

自転車関与事故及び関与率



刑法犯認知件数



■施策の方向性

- ▶犯罪や事件・事故の起こりにくいまちの実現に向け、様々な主体との連携による防犯活動や見守りをさらに強化します。
- ▶区民の安全・安心な消費生活を支えるため、相談体制の充実を図るとともに、幅広い世代に向けて、消費生活に関する啓発や注意喚起を行います。
- ▶自転車の安全利用促進と電動キックボード等の安全利用の啓発を継続し、区民の交通安全意識の向上に向けた取組を推進します。

■成果指標

	現状値	目標値
①自転車関与事故件数	362件 (2024年)	320件
②刑法犯認知件数	2,094件 (2024年)	1,800件

■主な取組

- ①犯罪被害防止のための対策 【防災危機管理課、区民サービス課】
- ②地域の防犯・見守り体制の強化
【防災危機管理課、区民サービス課、子ども・教育政策課ほか】
- ③自転車の交通安全対策 【防災危機管理課】

■主な事業（新規・拡充等）

- ・通学路安全対策事業
- ・消費者被害防止に向けた安全支援連携の充実
- ・自転車点検整備等促進事業

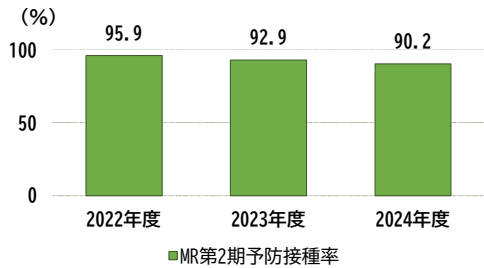
SDGsのゴールとの関係



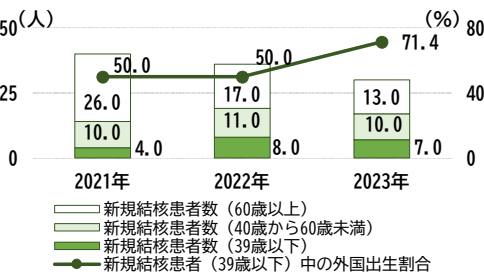
施策51 感染症の予防と拡大防止（本冊 255～256ページ）

■現状データ

MR（麻しん・風しん）第2期予防接種率



区内新規結核患者数



■施策の方向性

- ▶感染症に対する予防策の啓発、各種予防接種の接種率向上や検査の実施を行っていくことに加え、新型コロナウイルス感染症への対応における教訓を踏まえた感染症の発生・拡大予防に備えるための取組を推進します。
- ▶関係機関とのネットワークを維持・活用し、専門職の人材育成や、感染症発生時に対応できる体制整備を進め、感染症のまん延を防止します。

■成果指標

	現状値	目標値
①感染症の予防を心がけている人の割合	94.8% (2022年度)	98%
②MR（麻しん・風しん）第2期予防接種率	90.2% (2024年度)	95%

■主な取組

- ①感染症予防・拡大防止に向けた啓発 【保健予防課】
- ②感染症拡大防止策の強化 【保健予防課】
- ③感染症に対応できる人材の育成 【保健予防課、保健企画課】

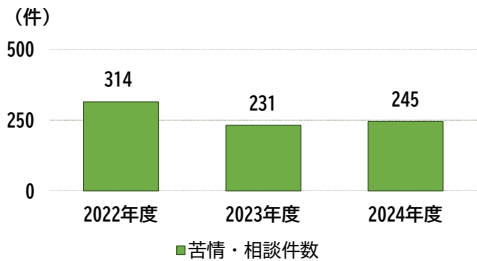
SDGsのゴールとの関係



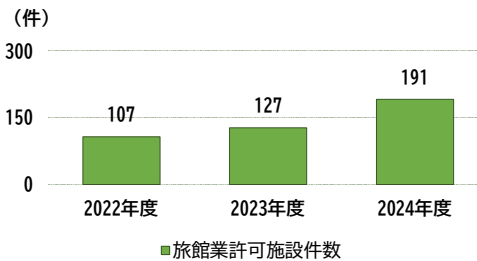
施策52 安全・安心な生活環境の確保（本冊 257～259ページ）

■現状データ

騒音・振動等の苦情・相談件数



旅館業許可施設件数



■施策の方向性

- ▶安全・安心で衛生的な生活環境を確保するために、宿泊施設等の監視指導、食の安全確保、衛生害虫・害獣への対応、愛護動物との共生等を総合的に推進します。
- ▶騒音・振動・悪臭等の様々な公害への対策を着実に実施するほか、地域における安全かつ快適な区民の生活環境の確保に努めます。

■成果指標

	現状値	目標値
①旅館業監視施設のうち、指摘事項があった施設の割合	38.4% (2024年度)	25%
②公害等の苦情・相談に対する年度内対応完結の割合	98% (2024年度)	100%

■主な取組

- ①宿泊施設の監視指導 【生活衛生課】
- ②食の安全・安心の確保 【生活衛生課】
- ③衛生害虫等の適正防除及び愛護動物との共生推進 【生活衛生課】
- ④公害への対策 【環境課】
- ⑤物品の蓄積等による不良な生活環境の解消 【環境課】

SDGsのゴールとの関係



区政運営の基本方針

1 対話・参加・協働に基づく区政運営

(1) 政策形成

- ①対話・参加・協働の取組の充実 ②政策マネジメントの確立 ③施設マネジメントの推進
- ④脱炭素の取組に係るマネジメントの推進

(2) 組織運営

- ①チャレンジし続ける風通しのよい組織の構築 ② 職員一人ひとりが成長と活躍を実感できる人財マネジメント

(3) 財政運営

- ①財政運営の考え方 ②基金活用の考え方 ③起債活用の考え方

2 危機の発生に備えた体制の強化

(1) 平常時からの効果的かつ実践的な危機への備え

(2) 危機発生時における対応の強化

(3) 業務継続計画（BCP）の継続的な改善

3 社会の変化に対応した質の高い行政サービスの提供

(1) DXの推進による、行政サービスの質の向上

(2) 効率的・効果的な行政運営の実現

(3) 区民ニーズや地域課題の変化に対応した区民サービスの推進

中野区基本計画（素案）
【説明資料】

2026年度 ▶ 2030年度（令和8年度～令和12年度）

令和7年（2025年）9月

編集・発行 中野区 企画部 企画課
〒164-8501 東京都中野区中野四丁目11番19号
電話 03-3389-1111（代表）
<https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp>

中野区基本計画（素案）の全文は、
区ホームページをご覧ください。

